

J P C

J A P A N P O W E R C I T I E S

日本の 都市特性評価

Japan Power Cities
Profiling Urban Attractiveness

2023



森記念財団
MORI MEMORIAL FOUNDATION

目次

はじめに	02
「日本の都市特性評価 2023」とは	03
対象都市	05
評価体系	07
136 都市 結果・分析	09
東京23区 結果・分析	22
特集研究	25
指標の定義	29

はじめに

世界保健機関 (WHO) は2023年5月5日、新型コロナウイルス感染症について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当しなくなったと発表しました。我が国においても新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを2類相当から5類相当に移行させました。2020年1月から世界で猛威を振るったパンデミックも3年余りが経過し、全世界を震撼させた状況もいよいよ収束しつつあります。アフターコロナの時代に移行し始めた今、都市活動は形を変えながらもパンデミックで得た教訓を得て、これから新しい展開をしていくものと思います。

森記念財団都市戦略研究所が2018年に開始した「日本の都市特性評価 (Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness / JPC)」も今年で6年目となりました。過去3年余りの新型コロナウイルス感染症の流行によって、文化・交流分野における「国際会議・展示会開催件数」や「行楽・観光目的の訪問の多さ」、「休日の人々の多さ」といった指標は大きな影響を受け、これらの指標で強みを有していた都市はスコアを落とす結果となりましたが、来年度以降は回復軌道に乗ることが期待されます。また、アフターコロナの都市の姿が都市力としてスコアに現れてくることも予想されます。

JPC-2023の調査分析にあたっては、令和2年国勢調査の夜間人口を基準にし、人口規模が17万人を下回った4都市を対象外とし、17万人を上回った2都市を新たに追加しました。また、国勢調査のデータ更新が数年ぶりに行われたことで、今年は多くの指標で現状をより反映した結果となりました。さらに、特集研究として、昨年、居住者を対象に行った「都市のイメージ」調査を、今年は居住者から非居住者に対象を変えて行い、今後の都市のブランディング戦略に資する研究成果としてとりまとめました。各都市がそれぞれの個性を活かしながら都市づくりをすすめる、人口減少の時代においても継続的に発展していくための政策立案にJPCが役立てられることを期待しています。

日本の都市特性評価 運営委員会 委員長
市川 宏雄
2023年7月



「日本の都市特性評価 2023」とは

About JPC-2023

背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、**日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め**、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。

そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められる。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに**相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的**として調査研究を行った。

策定体制

運営委員会

Steering Committee

評価体系の構築、データ収集、評価・分析

【委員長】



市川 宏雄

Hiroo Ichikawa

明治大学名誉教授

【メンバー】

森記念財団 都市戦略研究所

有識者委員会

Expert Committee

専門的な見地からの意見および助言

【委員（五十音順）】



浅見 泰司

Yasushi Asami

東京大学大学院
工学系研究科
教授



市川 一宏

Kazuhiro Ichikawa

ルーテル学院大学
学術顧問・教授



岸井 隆幸

Takayuki Kishii

政策研究大学院大学
客員教授
日本大学名誉教授



中井 検裕

Norihiro Nakai

東京工業大学
環境・社会理工学院長
教授



中川 雅之

Masayuki Nakagawa

日本大学
経済学部
教授



花木 啓祐

Keisuke Hanaki

東洋大学
情報連携学部教授、
東京大学名誉教授



吉見 俊哉

Shunya Yoshimi

東京大学大学院
情報学環
教授



意見
助言

評価手法

▶ Creating Framework



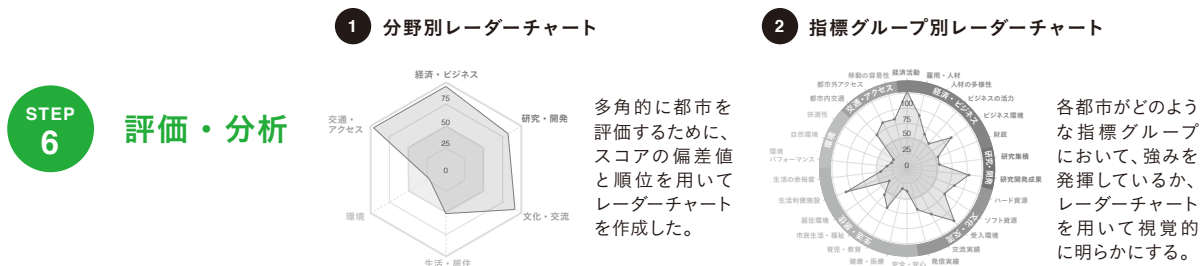
▶ Data Collection



▶ Indexation



▶ Evaluation and Analysis



対象都市

Target Cities

本調査は、国内の136都市と東京23区を対象としている。
136都市については下記のとおり選定基準を設定し、抽出した。

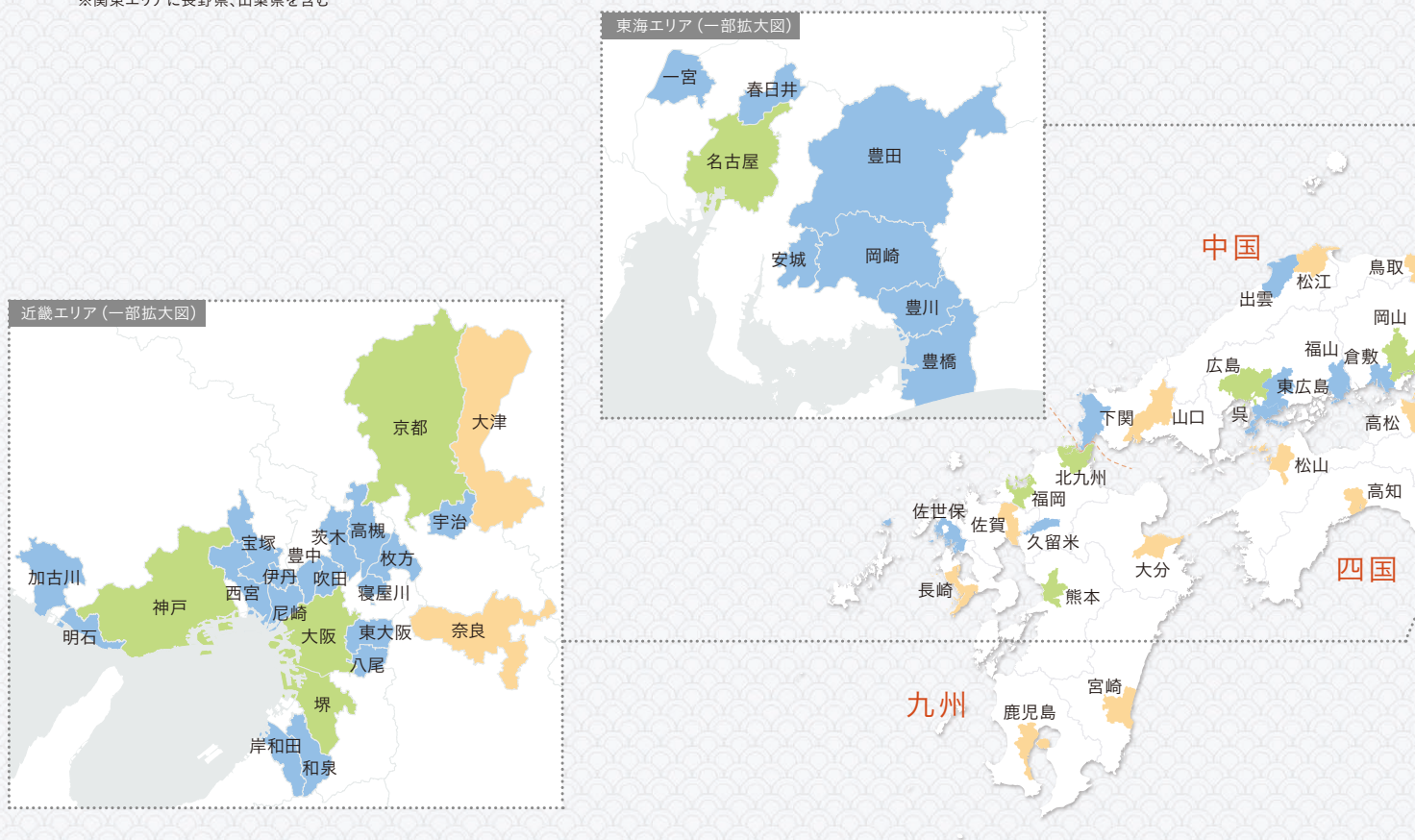
1. 政令指定都市
2. 都道府県庁所在地（政令指定都市を除く）
3. 人口17万人以上の都市

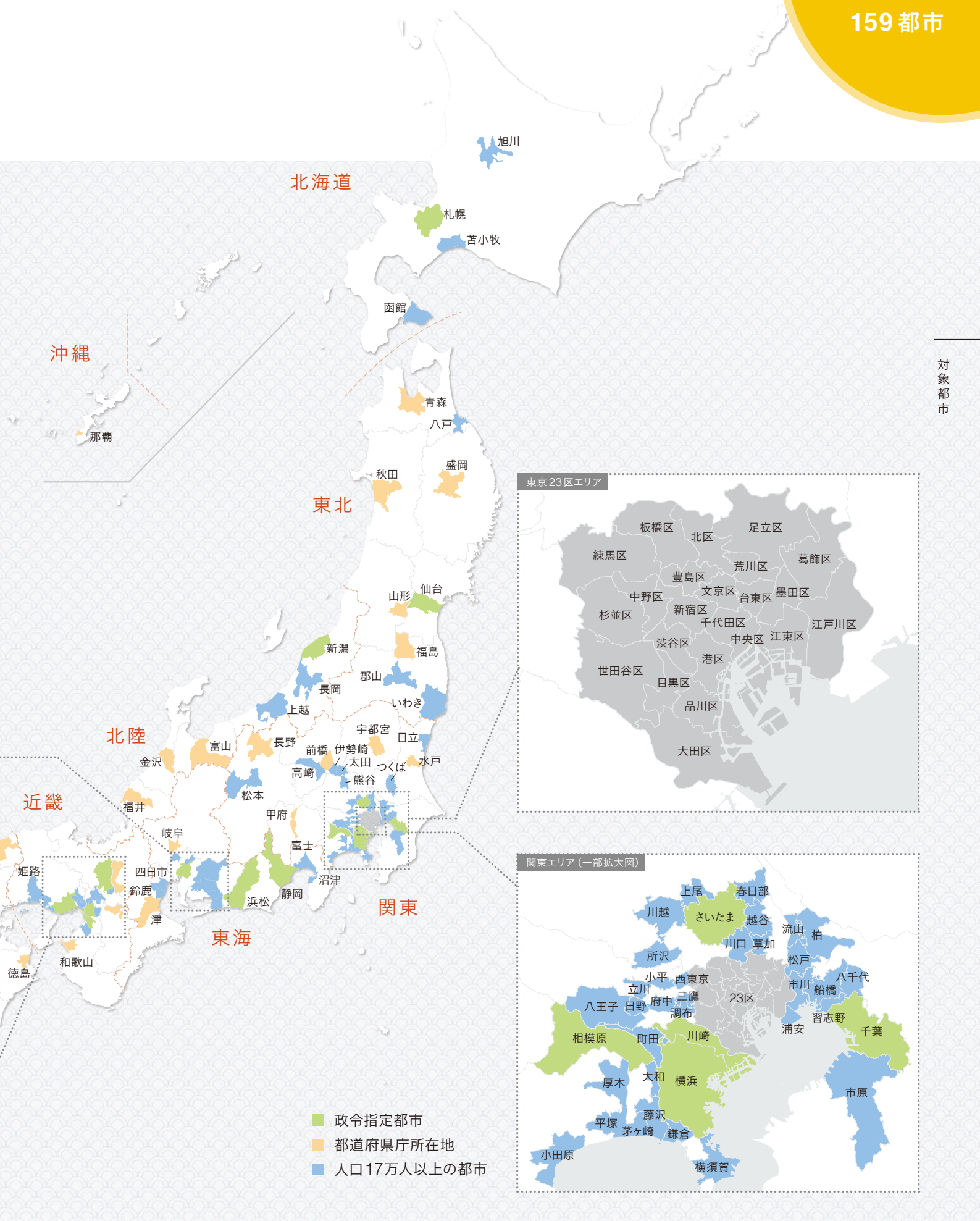
136
都市

東京
23
区

政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上の都市
北海道 札幌		函館・旭川・苫小牧
東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	八戸・郡山・いわき
関東※ さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	日立・つくば・高崎・伊勢崎・太田・川越・熊谷・川口・所沢・春日部・上尾・草加・越谷・市川・船橋・松戸・習志野・柏・市原・流山・八千代・浦安・八王子・立川・三鷹・府中・調布・町田・小平・日野・西東京・横須賀・平塚・鎌倉・藤沢・小田原・茅ヶ崎・厚木・大和・松本
東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	沼津・富士・豊橋・岡崎・一宮・春日井・豊川・豊田・安城・四日市・鈴鹿
北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡・上越
近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	宇治・岸和田・豊中・吹田・高槻・枚方・茨木・八尾・寝屋川・和泉・東大阪・姫路・尼崎・明石・西宮・伊丹・加古川・宝塚
中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	出雲・倉敷・呉・福山・東広島・下関
四国	徳島・高松・松山・高知	
九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
沖縄	那覇	
千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		

※関東エリアに長野県、山梨県を含む





評価体系

Evaluation System

各指標をスコア化し平均したものを指標グループのスコアとし、さらにそれらを合算して分野別スコアを算出した。合計スコアは、それらを合計して2,600点満点（経済・ビジネス600点、研究・開発200点、文化・交流500点、生活・居住700点、環境300点、交通・アクセス300点）で作成した。

分野	指標グループ	指標
経済・ビジネス	6 指標グループ	1 付加価値額
		2 地域内総支出
		3 昼夜間人口比率
		4 従業者数
		5 賃金水準
		6 高等教育修了者割合
	雇用・人材	7 若手人材の転入出
		8 女性就業者割合
	人材の多様性	9 外国人就業者割合
		10 高齢者就業率
	ビジネスの活力	11 新規設立法人登記割合
		12 労働生産性
	ビジネス環境	13 完全失業率
		14 特区制度認定数
		15 対事業所サービス従業者割合
		16 新規不動産業用建築物供給面積
		17 フレキシブル・ワークプレイス密度
	財政	18 財政力指数
		19 経常収支比率の低さ
		20 実質公債費比率の低さ
		21 将来負担比率の低さ
研究・開発	2 指標グループ	22 学術・開発研究機関従業者割合
		23 トップ大学数
	研究開発成果	24 論文投稿数
		25 グローバルニッチトップ企業数
		26 特許取得数
文化・交流	5 指標グループ	27 観光地の数・評価
		28 文化財指定件数
		29 景観まちづくりへの積極度
		30 イベントの数
		31 クリエイティブ産業従業者割合
	ハード資源	32 文化・歴史・伝統への接触機会 
		33 宿泊施設客室数
		34 高級宿泊施設客室数
		35 イベントホール座席数
	ソフト資源	36 観光案内所・病院の多言語対応
		37 休日の人の多さ
	受入環境	38 行楽・観光目的の訪問の多さ
		39 国際会議・展示会開催件数
	交流実績	40 観光客誘致活動
		41 自治体 SNS フォロワー数
		42 魅力度・認知度・観光意欲度 
発信実績		

分野	指標グループ	指標
生活・居住	7 指標グループ	43 刑法犯認知件数の少なさ
		44 交通事故死亡者数の少なさ
		45 災害時の安全性
		46 空家率の低さ
		47 医師の多さ
		48 病院・診療所・病床の多さ
		49 平均寿命・健康寿命
		50 合計特殊出生率
		51 保育ニーズの充足度
		52 子どもの医療費支援
		53 教育機会の多様性
		54 外国人住民の受入体制
		55 要支援・要介護高齢者の少なさ
		56 日常生活自立支援事業利用者数の多さ
		57 電子自治体推進度
		58 居住環境の満足度 ◎
		59 新規住宅供給の多さ
		60 住宅の広さ
		61 住宅のバリアフリー化率
環境	3 指標グループ	62 小売事業所密度
		63 飲食店舗密度
		64 コンビニ密度
		65 可処分所得
		66 物価水準の低さ
		67 住宅コストの低さ
		68 リサイクル率
		69 昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ
		70 再生可能エネルギー自給率
		71 自然環境の満足度 ◎
交通・アクセス	3 指標グループ	72 都市地域緑地率
		73 水辺の充実度
		74 年間日照時間
		75 気温・湿度が快適な日数
		76 空気のきれいさ
		77 街路の清潔さ ◎
		78 公共交通の利便性 ◎
		79 鉄道駅・バス停密度
		80 交通渋滞の少なさ
		81 空港アクセス時間の短さ
	都市外アクセス	82 新幹線の利用のしやすさ
		83 インターチェンジ数
		84 都市のコンパクトさ
		85 通勤時間の短さ
	移動の容易性	86 自転車の利用のしやすさ ◎

◎ : アンケートに基づく指標

合計スコアの上位10都市について、分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。 ※偏差値は対象136都市内で算出。

大阪市

OSAKA

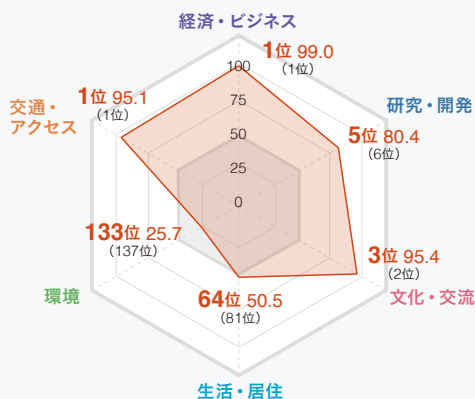


© (公財) 大阪観光局

さらなる成長の可能性を有する関西圏の中心都市

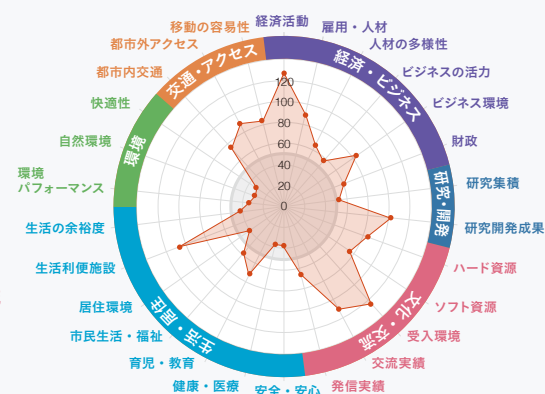
大阪市は、**経済・ビジネス**、**交通・アクセス**で首位を維持したことに加えて、今年は**生活・居住**でも順位を上げた。これは、「居住環境」における新規住宅供給の多さや居住環境の満足度、「安全・安心」における災害時の安全性でスコアを上げたためである。一方、新型コロナウイルス感染症の影響で「交流実績」の国際会議・展示会開催件数などでスコアを下げたため、**文化・交流**は順位を一つ下げた。**環境**は順位を少し上げたものの依然として弱みである。**環境**を改善することで、関西圏の中心都市の大阪시는さらなる成長が期待される。

分野別の順位・偏差値



2023 分野別偏差値 偏差値 50ライン
() 2022 の順位

指標グループ別の偏差値



2023 指標グループ別偏差値 偏差値 50ライン

※グラフの形は偏差値を表す

横浜市

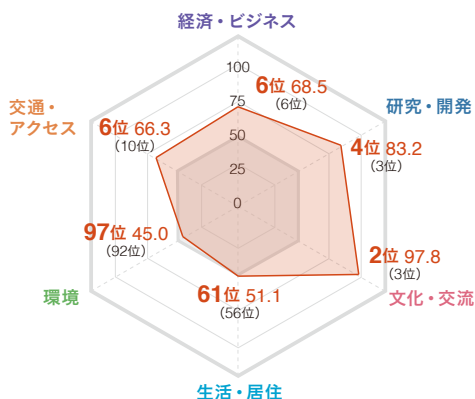
YOKOHAMA



文化的な交流と人材の多様性が魅力な多機能都市

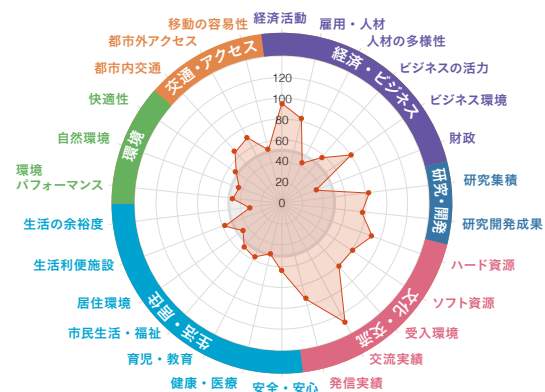
横浜市は今年、**文化・交流**、**経済・ビジネス**でスコアを伸ばし、合計スコアの評価を上げた。特に、**文化・交流**の国際会議・展示会開催件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの都市が件数を落とす中、横浜市は件数を伸ばしたことで、「交流実績」で突出した偏差値を獲得した。また、観光客誘致活動も積極的であり、「発信実績」の評価を上げた。**経済・ビジネス**では、「人材の多様性」でスコアを伸ばしており、人材の豊富さで魅力を発揮した。

分野別の順位・偏差値



2023 分野別偏差値 偏差値 50ライン
() 2022 の順位

指標グループ別の偏差値



2023 指標グループ別偏差値 偏差値 50ライン

※グラフの形は偏差値を表す



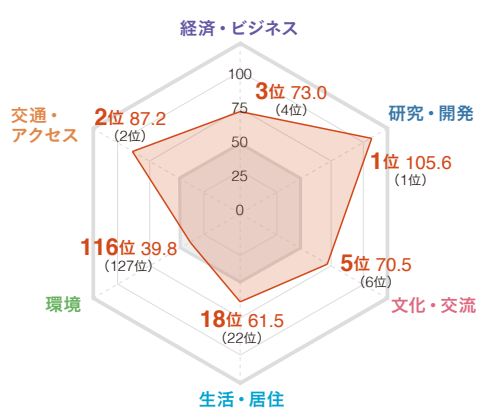
3 名古屋市

NAGOYA

名古屋都市圏の交通の要衝かつ知の集積地

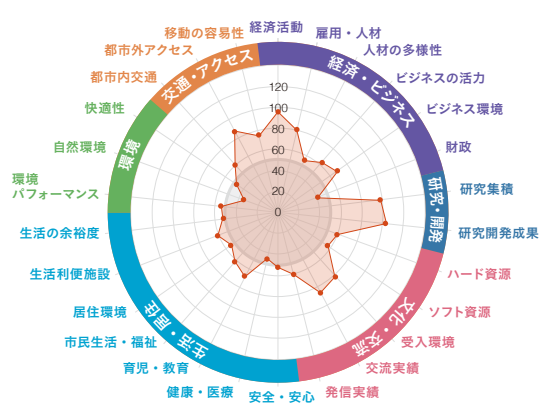
名古屋市は、**研究・開発**と**交通・アクセス**で高い評価を得ており、知の集積と交通の要衝としての強みを発揮した。**研究・開発**は、「研究集積」、「研究開発成果」どちらも評価が高かった。**交通・アクセス**においては、「都市外アクセス」の偏差値が高く、インターチェンジ数の高評価がその要因にある。また今年は、シェアサイクルポート数が増加したことで、自転車の利用のしやすさのスコアを伸ばした。他の分野でも順位を上げており、名古屋都市圏の中心地として存在感をさらに高めていくものと期待される。

分野別の順位・偏差値



2023 分野別偏差値 () 2022 の順位

指標グループ別の偏差値



2023 指標グループ別偏差値

※グラフの形は偏差値を表す

136 都市 結果・分析

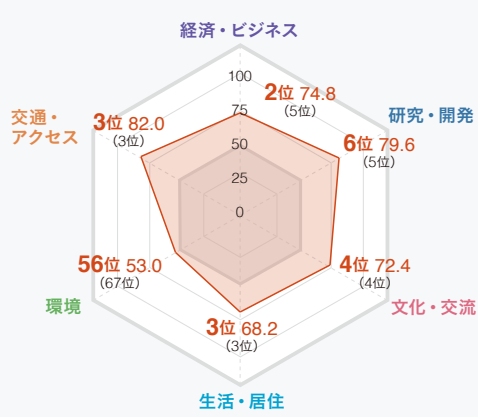
4 福岡市

FUKUOKA

経済と環境の魅力をさらに高めた九州地方の中核都市

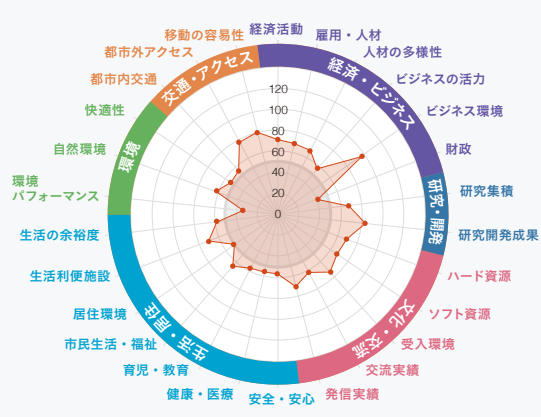
環境を除く5分野でトップ10入りをしている福岡市は高い総合力を有している。特に**経済・ビジネス**では、「雇用・人材」や「人材の多様性」などでスコアを伸ばしたことで、同分野の順位を5位から2位まで高めた。さらに今年は**環境**においても順位を上げており、「自然環境」における自然環境の満足度や、「快適性」における街路の清潔さで高いスコアを獲得している。アジアのモデルとなる快適環境都市をビジョンに掲げる福岡市が、その環境の力をさらに伸ばしていくことに今後も期待がかかる。

分野別の順位・偏差値



2023 分野別偏差値 () 2022 の順位

指標グループ別の偏差値



2023 指標グループ別偏差値

※グラフの形は偏差値を表す

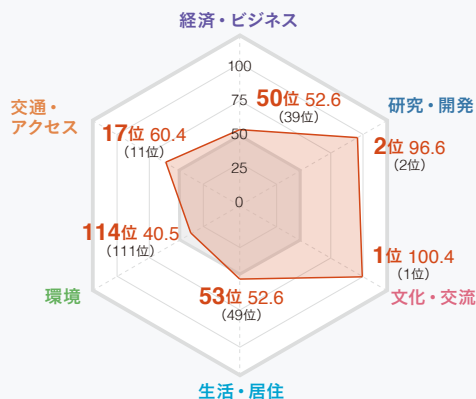
5 京都市 KYOTO



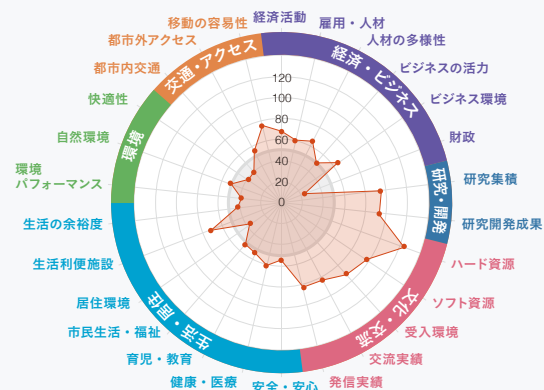
文化の力を活力に変えることが期待される文化行政の新拠点

多くの文化遺産を有する京都市は、新型コロナウイルス感染症の影響で「交流実績」における国際会議・展示会開催件数のスコアを落としたものの、今年も文化・交流の首位を維持した。一方、経済・ビジネスにおいては、「人材の多様性」や「ビジネス環境」などの指標グループで評価を落としたことで順位を下げる結果となった。2023年5月に文化庁が京都市に移転し業務を開始したことで、今後は国内外に対する京都市の発信力のさらなる向上が期待される。文化の力を通じて都市の力をどこまで高めることができるかが注目される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



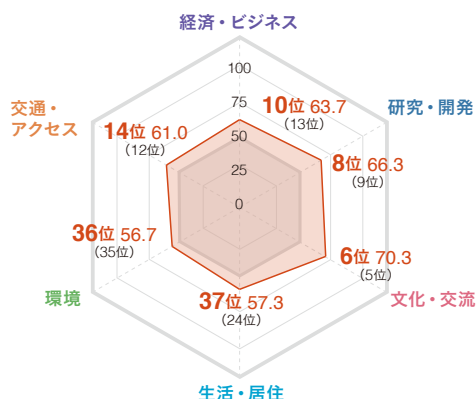
6 神戸市 KOBE



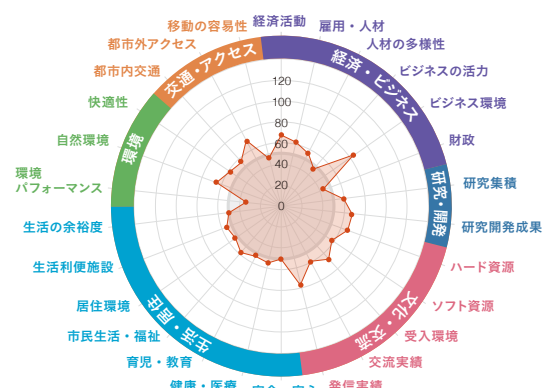
全分野でバランスよく高評価をおさめる自然豊かな文化都市

文化・交流が強みである神戸市では、特に「発信実績」における全ての指標がトップ10入りしており、情報発信力という点において優れている。さらに今年は、経済・ビジネスにおいて順位を上げており、なかでも「ビジネス環境」における特区制度認定数はスコアを伸ばし、136都市中3位を獲得している。同市は、全ての分野において平均を上回るスコアを得ており、バランスのとれた都市力が特徴といえる。さらに今後はより明確な強みを伸ばしていくことに期待がかかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



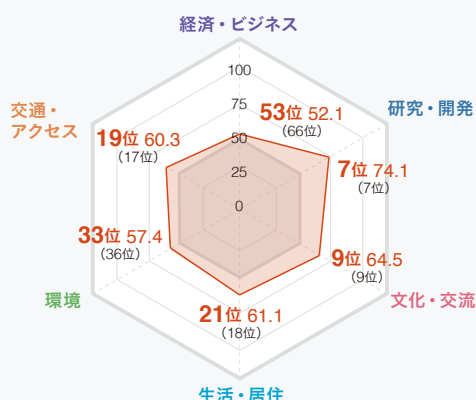
7 仙台市 SENDAI



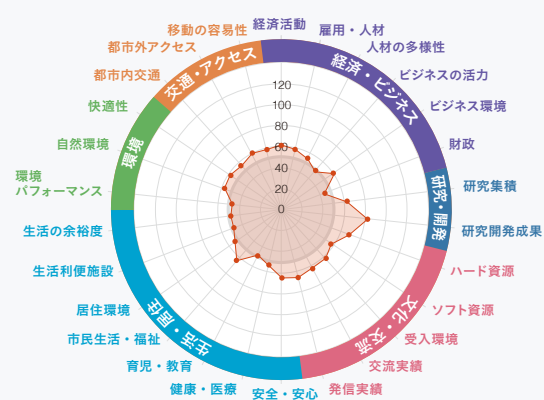
バランスのとれた総合力が強みの杜の都

仙台市は、研究・開発および文化・交流の2分野において高順位を獲得しているに加えて、他の4分野においてもバランス良く高評価を得ている。経済・ビジネスでは、「人材の多様性」や「ビジネスの活力」において評価を高め、同分野の順位を上げた。生活・居住では「安全・安心」や「居住環境」のスコアを伸ばし、暮らしやすさの魅力をさらに高めている。「新たな杜の都」として選ばれる都市の実現を目指す同市は、そのバランス力が強みであることが明らかである。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



8 松本市

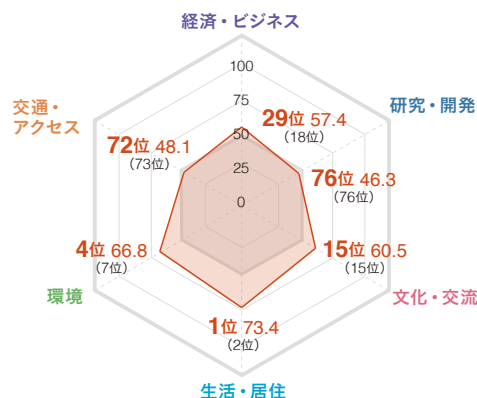
MATSUMOTO



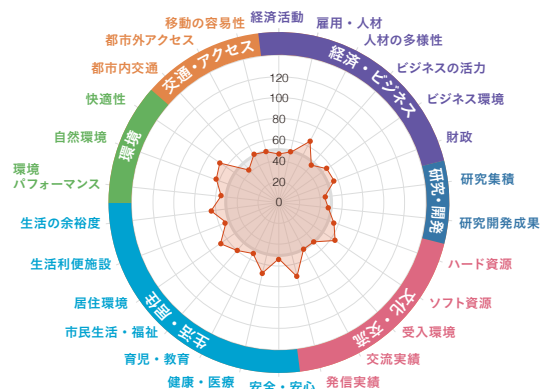
住みやすさと自然環境が魅力の戦略的観光都市

生活・居住で極めて高い評価を得ている松本市は、今年は「居住環境」の指標グループでスコアを上げ、さらにその強みを伸ばす結果となった。居住者へのアンケートをもとにした指標である、居住環境の満足度で高評価を得たことがその要因の一つに挙げられる。環境の評価も高く、スコアを落とすものの順位を上げた。これもアンケート指標である自然環境の満足度の評価が高かったことがその背景にある。文化・交流も比較的高評価であり、観光客誘致活動では136都市中1位を獲得するなど、同市の観光政策が見てとれる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



9 金沢市

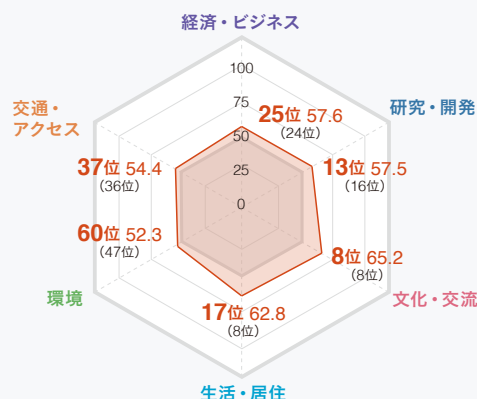
KANAZAWA



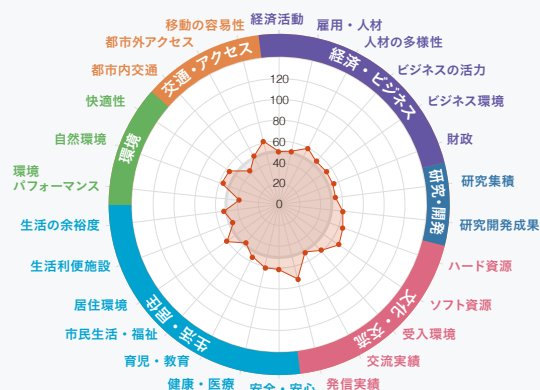
歴史と伝統、自然環境など、様々な魅力が揃った総合型都市

金沢市は、強みである文化・交流はもとより、他の全ての分野においても平均を上回っていることから、弱みがほとんどない都市であるといえる。中でも、文化・交流における文化・歴史・伝統への接触機会や魅力度・認知度・観光意欲度、環境の空気のきれいさや、自然環境の満足度、経済・ビジネスの高齢者就業率、研究・開発のグローバルニッチトップ企業数などの評価が高いことから、歴史と伝統が色濃く残り、自然環境も豊かな一方で、高齢者やユニークな企業など幅広い人材が活躍していることがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



10 札幌市

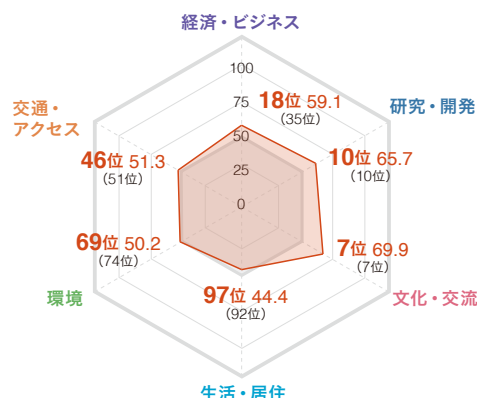
SAPPORO



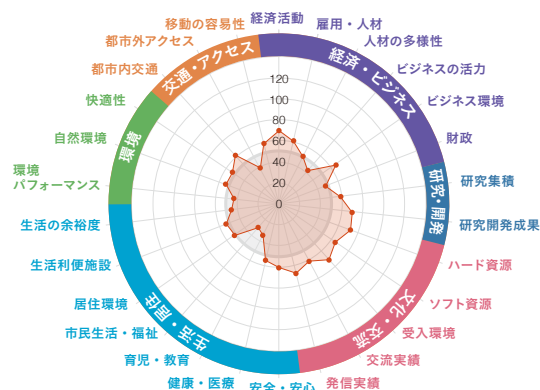
研究機能の集積と観光地としての魅力を有する大都市

札幌市は、特に文化・交流と研究・開発で高いスコアを得ていることから、研究機能の集積と、観光地としての魅力を有する大都市ということがわかる。研究・開発では特に、グローバルニッチトップ企業数で高評価を得ており、今年はトップ大学数でもスコアを伸ばした。文化・交流では、どの指標グループも偏差値50を超えており、ハード・ソフト両方の資源を併せ持つ観光都市であるといえる。唯一評価が低い観光客誘致活動でスコアを伸ばすことができれば、さらに文化・交流で高スコアを獲得することが期待される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



以下では、各分野（経済・ビジネス、研究・開発、文化・交流、生活・居住、環境、交通・アクセス）において、魅力ある6都市を分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いて分析した。 ※偏差値は対象136都市内で算出。

経済・ビジネス



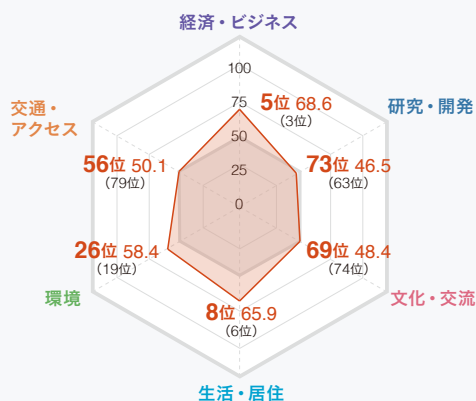
豊田市

TOYOTA

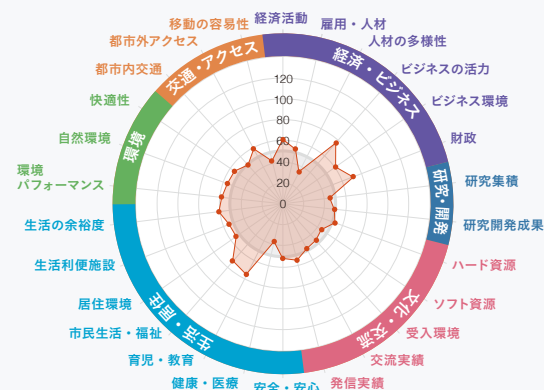
活発な経済活動と安定した財政力を有する都市

豊田市は**経済・ビジネス**において高い評価を得ている。昨年に比べ順位は下げたが、「ビジネスの活力」と「財政」の指標グループで高い偏差値を獲得した。「ビジネスの活力」においては、労働生産性が136都市中1位、完全失業率も2位と、活発な経済状況がみとれる。「財政」では、今年は経常収支比率の低さで大きくスコアを落とすも、指標グループのスコアは依然として高く、安定した財政力を有している。今後は女性就業者割合を高め、「人材の多様性」のスコアを伸ばすことで、経済力のさらなる伸びが期待される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



研究・開発



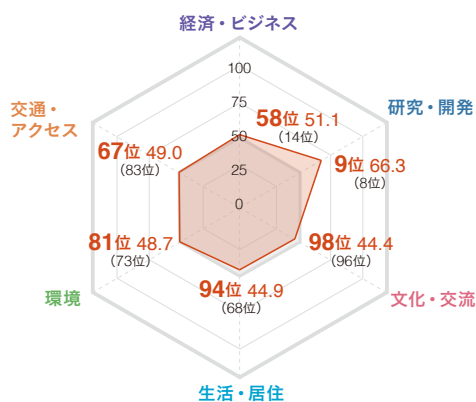
厚木市

ATSUGI

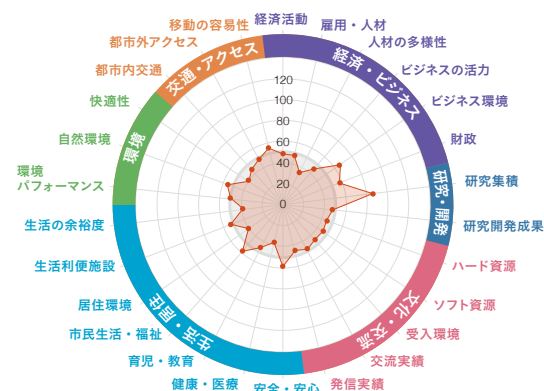
地理的優位性を活かした産業と研究開発の拠点都市

神奈川県中央部に位置する厚木市は、その立地条件を活かし、多様な産業や研究開発機関が集積しており、**研究・開発**の「研究集積」における学術・開発研究機関従業者割合の指標では136都市中2位を獲得している。また、「研究開発成果」におけるグローバルニッチトップ企業数や、特許取得数でも上位に位置している。さらに、**経済・ビジネス**における対事業所サービス従業者割合ではトップを獲得し、加えて昼夜間人口比率の評価も高いことから、第3次産業を中心とした産業活動の強さがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



文化・交流



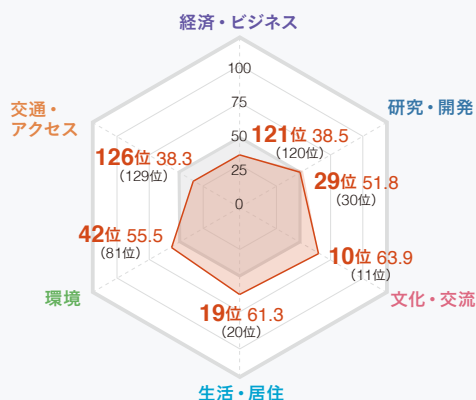
長崎市

NAGASAKI

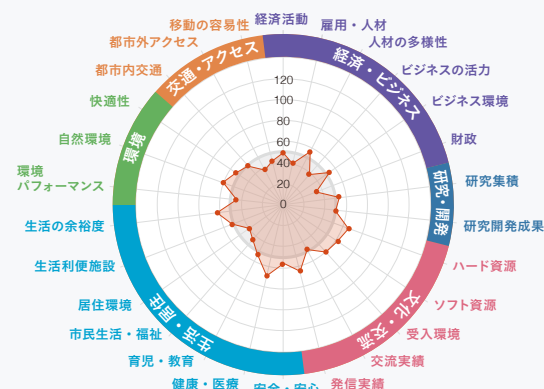
時代の変遷とともに独自の魅力を築いてきた国際文化都市

文化・交流で高評価を得た長崎市は、江戸時代の国際都市から明治の近代化、そして昭和の原爆被害とそこからの復興など、時代とともに独自の文化的魅力を築いてきた。長崎市では、伝統的な建築や景観を守るための取り組みが盛んであり、それは景観まちづくりへの積極度の高評価にもあらわれている。また、居住者へのアンケートを基にした文化・歴史・伝統への接触機会でも高スコアを得ていることから、同市の取り組みが居住者に有意義な影響を与えているといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

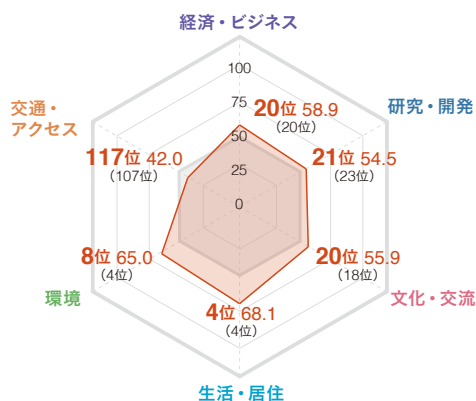




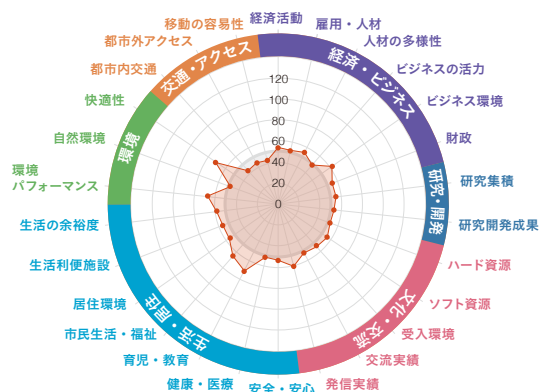
育児・教育で高い評価を得る居住性の高い都市

浜松市は、生活・居住の全ての指標グループで安定した偏差値を獲得した。特に「育児・教育」で高い偏差値を得ており、今年は保育ニーズの充足度で順位を上げている。結婚から妊娠・出産、教育まで、切れ目のない支援を目指す同市の政策が結果に繋がったといえる。また山、川、海などの豊かな自然を有する浜松市は環境も強みであり、「快適性」の評価の高さが暮らしをさらに充実させていることがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



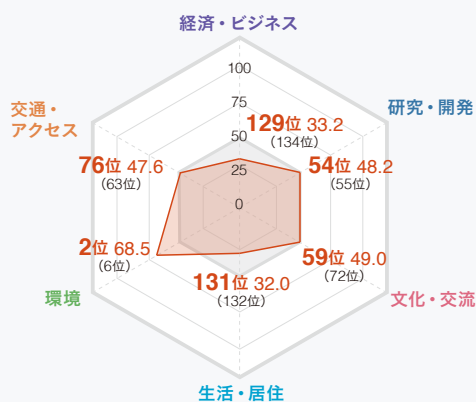
指標グループ別の偏差値



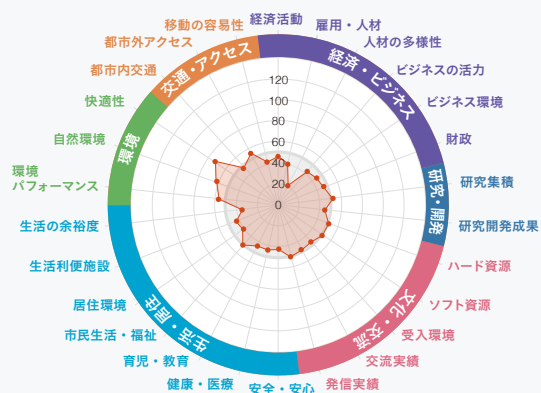
快適性の高い自然豊かな海辺の都市

環境で評価の高い横須賀市は、海と山々に囲まれた自然が豊かな都市である。指標グループでみると、「快適性」の評価が高く、特に今年定義を変更した気温・湿度が快適な日数でスコアを伸ばした。また、空気のきれいさでもスコアを伸ばしており、生活するのに快適な環境を有する都市だとわかる。海岸も多く、水辺の充実度の評価が高いことも特徴の一つである。リサイクル率もスコアを伸ばし、かつ高評価であることから、横須賀市の環境への意識の高さがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



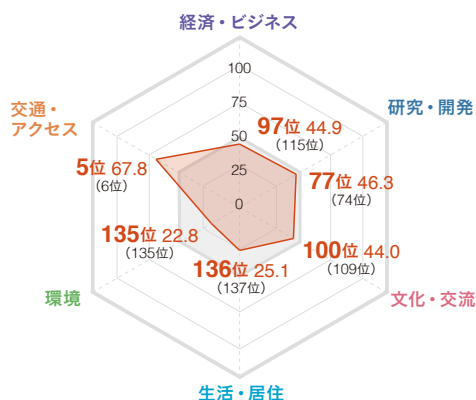
指標グループ別の偏差値



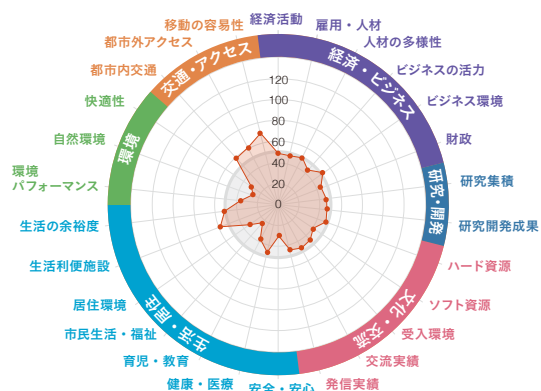
都市内外の交通利便性が高い中核市

交通・アクセスで高評価を得た尼崎市は、3つの指標グループ全てで高い偏差値を獲得している。空港アクセス時間の短さが比較的高いスコアを得ており、大阪国際空港(伊丹空港)の利用者の多さとアクセスの良さが評価された。また、自転車の利用のしやすさでスコアを伸ばしていることから、同市が力を入れている自転車のまちづくりの成果が評価に反映されていることがうかがえる。今後は、交通渋滞の改善に取り組むことで、交通・アクセスの評価を更に向上させることが期待される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	282.4	41	西東京市	163.3
2	福岡市	217.7	42	日野市	162.5
3	名古屋市	212.9	43	川口市	162.3
4	安城市	204.2	44	船橋市	161.9
5	豊田市	201.1	45	大津市	160.6
6	横浜市	200.7	46	八王子市	160.5
7	浦安市	193.9	47	八千代市	159.7
8	つくば市	192.1	48	鈴鹿市	159.3
9	調布市	188.0	49	町田市	159.2
10	神戸市	188.0	50	京都市	158.2
11	三鷹市	185.1	51	福井市	157.8
12	四日市市	183.4	52	松戸市	157.2
13	岐阜市	180.7	53	仙台市	156.8
14	立川市	179.3	54	久留米市	156.2
15	府中市	179.1	55	一宮市	155.9
16	小平市	178.1	56	鹿児島市	155.2
17	川崎市	176.7	57	相模原市	154.9
18	札幌市	175.5	58	厚木市	154.3
19	市川市	175.3	59	藤沢市	153.6
20	浜松市	175.1	60	小田原市	153.5
21	岡崎市	173.8	61	春日井市	153.3
22	東広島市	173.4	62	宝塚市	152.5
23	柏市	172.6	63	姫路市	152.4
24	さいたま市	172.4	64	伊勢崎市	152.3
25	金沢市	171.5	65	高松市	151.8
26	福山市	171.4	66	宮崎市	151.7
27	吹田市	171.3	67	所沢市	150.9
28	岡山市	171.1	68	広島市	150.0
29	松本市	171.0	69	高槻市	150.0
30	習志野市	170.1	70	枚方市	149.9
31	茨木市	170.0	71	郡山市	149.7
32	長野市	169.7	72	高崎市	149.6
33	西宮市	168.3	73	津市	149.4
34	流山市	167.4	74	倉敷市	149.3
35	静岡市	166.8	75	沼津市	148.4
36	佐賀市	166.4	76	宇都宮市	148.0
37	鎌倉市	166.4	77	富山市	147.4
38	豊橋市	166.0	78	太田市	146.3
39	豊中市	165.9	79	熊本市	146.2
40	豊川市	163.8	80	熊谷市	145.3

81
~
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,川越市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,大和市,新潟市,長岡市,上越市,甲府市,富士市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,山口市,徳島市,松山市,高知市,北九州市,長崎市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



研究・開発

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	112.5	41	徳島市	12.8
2	京都市	96.5	42	長岡市	12.6
3	つくば市	74.4	43	宮崎市	12.3
4	横浜市	72.4	44	盛岡市	12.0
5	大阪市	67.4	45	津市	12.0
6	福岡市	65.9	46	藤沢市	11.8
7	仙台市	56.1	47	佐賀市	11.7
8	神戸市	42.2	48	川越市	11.3
9	厚木市	42.1	49	相模原市	10.9
10	札幌市	41.1	50	久留米市	10.7
11	広島市	35.5	51	茨木市	10.7
12	川崎市	29.4	52	松山市	10.6
13	金沢市	26.4	53	福島市	10.5
14	吹田市	26.3	54	横須賀市	9.8
15	八王子市	26.2	55	富山市	9.8
16	新潟市	24.8	56	前橋市	9.5
17	北九州市	24.7	57	豊橋市	9.4
18	岡山市	22.1	58	府中市	9.4
19	さいたま市	21.7	59	小平市	9.4
20	千葉市	21.6	60	日立市	9.1
21	浜松市	21.1	61	長野市	8.7
22	調布市	21.1	62	福井市	8.5
23	三鷹市	20.9	63	市川市	8.4
24	宇都宮市	20.7	64	堺市	7.8
25	熊本市	20.2	65	鎌倉市	7.8
26	静岡市	18.5	66	松戸市	7.5
27	柏市	17.4	67	倉敷市	7.4
28	函館市	17.1	68	日野市	7.4
29	長崎市	16.1	69	浦安市	7.1
30	豊中市	15.6	70	奈良市	6.9
31	秋田市	15.5	71	和歌山市	6.9
32	大津市	15.4	72	高知市	6.8
33	宇治市	15.2	73	豊田市	6.7
34	枚方市	15.0	74	甲府市	6.7
35	鹿児島市	15.0	75	習志野市	6.7
36	西宮市	14.8	76	松本市	6.4
37	高松市	14.6	77	尼崎市	6.4
38	東広島市	13.3	78	船橋市	6.3
39	岐阜市	13.2	79	山形市	6.2
40	高槻市	12.9	80	平塚市	6.1

81
~
136

旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,流山市,八千代市,立川市,町田市,西東京市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,沼津市,富士市,岡崎市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,明石市,伊丹市,加古川市,宝塚市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,福山市,下関市,山口市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



文化・交流

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	297.6	41	富山市	71.2
2	横浜市	285.5	42	水戸市	71.0
3	大阪市	274.9	43	和歌山市	69.4
4	福岡市	168.7	44	沼津市	68.7
5	名古屋市	159.9	45	いわき市	68.7
6	神戸市	159.0	46	府中市	68.5
7	札幌市	157.1	47	松江市	68.5
8	金沢市	135.5	48	宮崎市	67.5
9	仙台市	131.9	49	佐世保市	65.7
10	長崎市	129.2	50	鳥取市	64.6
11	広島市	120.4	51	福島市	64.3
12	那覇市	119.5	52	高知市	64.2
13	北九州市	117.1	53	宇治市	62.7
14	奈良市	115.2	54	宇都宮市	62.3
15	松本市	113.6	55	長岡市	62.1
16	鎌倉市	108.9	56	藤沢市	62.0
17	静岡市	108.2	57	大分市	61.8
18	函館市	107.0	58	山形市	61.0
19	姫路市	105.1	59	横須賀市	60.8
20	浜松市	92.6	60	郡山市	60.2
21	長野市	91.7	61	高崎市	60.0
22	熊本市	90.5	62	青森市	59.6
23	鹿児島市	88.8	63	徳島市	59.3
24	松山市	88.2	64	秋田市	59.3
25	さいたま市	85.5	65	福井市	59.3
26	川越市	84.7	66	久留米市	59.1
27	高松市	84.1	67	堺市	59.0
28	倉敷市	82.7	68	つくば市	57.8
29	小田原市	82.2	69	豊田市	57.6
30	盛岡市	79.9	70	山口市	56.4
31	千葉市	77.9	71	岡崎市	55.4
32	岡山市	76.5	72	旭川市	55.0
33	出雲市	75.9	73	八王子市	54.9
34	川崎市	74.6	74	前橋市	54.7
35	大津市	73.6	75	西宮市	54.0
36	浦安市	73.3	76	宝塚市	53.0
37	岐阜市	72.5	77	福山市	52.3
38	新潟市	72.0	78	調布市	51.7
39	甲府市	72.0	79	立川市	51.1
40	下関市	71.5	80	明石市	49.6

81
136
苦小牧市,八戸市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,三鷹市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,富士市,豊橋市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,豊中市,吹田市,高槻市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,呉市,東広島市,佐賀市

(市区町村コード順)



生活・居住

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	松本市	359.4	41	広島市	313.5
2	出雲市	356.6	42	浦安市	312.8
3	福岡市	345.6	43	流山市	311.3
4	浜松市	345.3	44	宇都宮市	310.4
5	前橋市	343.7	45	高松市	310.2
6	熊本市	342.9	46	北九州市	309.4
7	福井市	340.7	47	松江市	308.3
8	豊田市	339.7	48	四日市市	307.1
9	豊橋市	339.1	49	宝塚市	306.1
10	山形市	336.9	50	津市	305.4
11	岡崎市	334.9	51	富士市	305.1
12	長野市	334.3	52	松山市	304.8
13	奈良市	333.5	53	京都市	304.5
14	吹田市	332.5	54	明石市	303.6
15	久留米市	332.0	55	鈴鹿市	303.5
16	岐阜市	331.6	56	春日井市	302.9
17	金沢市	331.3	57	郡山市	302.6
18	名古屋市	327.9	58	佐世保市	302.4
19	長崎市	327.4	59	福島市	301.8
20	安城市	327.0	60	茨木市	300.9
21	仙台市	327.0	61	横浜市	300.4
22	鹿児島市	326.6	62	徳島市	300.0
23	つくば市	324.8	63	倉敷市	299.2
24	豊中市	323.1	64	大阪市	298.8
25	一宮市	322.3	65	秋田市	298.6
26	甲府市	321.5	66	福山市	298.1
27	宮崎市	320.7	67	山口市	297.7
28	佐賀市	320.7	68	高槻市	297.6
29	富山市	320.1	69	藤沢市	296.7
30	豊川市	319.9	70	千葉市	296.7
31	静岡市	319.7	71	八千代市	296.5
32	西宮市	319.6	72	上越市	296.2
33	高崎市	318.5	73	所沢市	296.1
34	さいたま市	318.4	74	枚方市	295.7
35	新潟市	318.0	75	柏市	295.5
36	大分市	317.4	76	太田市	295.3
37	神戸市	316.7	77	大津市	295.1
38	鳥取市	315.9	78	東広島市	294.8
39	水戸市	315.4	79	盛岡市	294.1
40	岡山市	313.7	80	茅ヶ崎市	294.0

81
136
札幌市,函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,いわき市,日立市,伊勢崎市,川越市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,市原市,八王子市,立川市,三鷹市,府中市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,小田原市,厚木市,大和市,長岡市,沼津市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,呉市,下関市,高知市,那覇市

(市区町村コード順)

分野別スコア

Function-Specific Scores



環境

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	豊橋市	178.7	41	小田原市	152.8
2	横須賀市	177.7	42	長崎市	152.5
3	出雲市	175.1	43	沼津市	152.3
4	松本市	174.3	44	秋田市	151.5
5	宮崎市	173.1	45	静岡市	151.4
6	大津市	172.4	46	調布市	151.3
7	佐世保市	171.4	47	奈良市	151.2
8	浜松市	170.9	48	姫路市	150.5
9	山口市	170.5	49	水戸市	150.3
10	つくば市	169.6	50	徳島市	150.1
11	豊川市	168.6	51	明石市	148.9
12	下関市	168.5	52	大分市	148.8
13	鎌倉市	168.2	53	和泉市	147.9
14	津市	167.7	54	茨木市	147.9
15	呉市	166.8	55	藤沢市	147.8
16	前橋市	165.7	56	福岡市	147.7
17	松江市	164.7	57	相模原市	146.9
18	宝塚市	163.9	58	北九州市	146.8
19	佐賀市	162.6	59	新潟市	146.6
20	西宮市	162.4	60	金沢市	146.4
21	鳥取市	162.4	61	府中市	146.2
22	富山市	161.2	62	岐阜市	145.5
23	高崎市	161.1	63	浦安市	145.0
24	いわき市	160.3	64	太田市	143.7
25	東広島市	159.1	65	平塚市	143.6
26	豊田市	158.1	66	千葉市	143.3
27	長野市	157.7	67	高槻市	143.1
28	高松市	157.1	68	立川市	142.3
29	富士市	156.8	69	札幌市	142.2
30	日立市	156.7	70	茅ヶ崎市	142.1
31	高知市	156.5	71	宇都宮市	141.9
32	鹿児島市	156.3	72	日野市	141.6
33	仙台市	156.2	73	広島市	141.5
34	倉敷市	155.5	74	山形市	141.3
35	岡崎市	155.1	75	安城市	140.1
36	神戸市	154.8	76	小平市	139.9
37	八王子市	154.7	77	和歌山市	139.9
38	松山市	154.3	78	加古川市	139.9
39	熊本市	153.1	79	苫小牧市	139.9
40	盛岡市	153.0	80	久留米市	139.5

81
~
136

函館市, 旭川市, 青森市, 八戸市, 福島市, 郡山市, 伊勢崎市, さいたま市, 川崎市, 熊谷市, 川口市, 所沢市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 習志野市, 柏市, 市原市, 流山市, 八千代市, 三鷹市, 町田市, 西東京市, 横浜市, 川崎市, 厚木市, 大和市, 長岡市, 上越市, 福井市, 甲府市, 名古屋市, 一宮市, 春日井市, 四日市市, 鈴鹿市, 京都市, 宇治市, 大阪市, 堺市, 岸和田市, 豊中市, 吹田市, 枚方市, 八尾市, 寝屋川市, 東大阪市, 尼崎市, 伊丹市, 岡山市, 福山市, 那覇市

(市区町村コード順)



交通・アクセス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	218.8	41	平塚市	132.9
2	名古屋市	203.1	42	苫小牧市	132.1
3	福岡市	192.5	43	宇治市	131.6
4	浦安市	169.2	44	一宮市	131.3
5	尼崎市	164.0	45	松山市	130.9
6	横浜市	160.9	46	札幌市	130.9
7	豊中市	160.2	47	日野市	130.6
8	静岡市	159.5	48	旭川市	130.5
9	伊丹市	159.1	49	草加市	130.3
10	川崎市	157.4	50	春日井市	130.1
11	千葉市	156.6	51	熊本市	129.8
12	吹田市	155.5	52	久留米市	129.3
13	広島市	154.0	53	市原市	129.1
14	神戸市	150.2	54	藤沢市	128.9
15	東大阪市	149.9	55	枚方市	128.4
16	堺市	149.8	56	豊田市	128.3
17	京都市	149.1	57	船橋市	128.2
18	府中市	148.8	58	岐阜市	128.1
19	仙台市	148.8	59	宝塚市	128.1
20	茨木市	147.1	60	那覇市	127.9
21	西宮市	146.6	61	奈良市	127.0
22	北九州市	146.3	62	山口市	127.0
23	さいたま市	145.9	63	大和市	126.9
24	立川市	143.5	64	東広島市	126.8
25	三鷹市	142.6	65	岡山市	126.8
26	八尾市	142.5	66	明石市	126.7
27	調布市	141.6	67	厚木市	126.1
28	市川市	141.2	68	高知市	125.9
29	秋田市	141.1	69	姫路市	125.9
30	新潟市	140.2	70	和泉市	125.6
31	函館市	139.6	71	茅ヶ崎市	124.4
32	鹿児島市	139.4	72	松本市	124.2
33	川口市	139.1	73	八千代市	124.1
34	盛岡市	139.0	74	富山市	124.0
35	青森市	138.3	75	長野市	123.5
36	寝屋川市	138.0	76	横須賀市	123.3
37	金沢市	137.0	77	郡山市	123.2
38	習志野市	136.7	78	呉市	122.9
39	高槻市	135.9	79	八戸市	122.5
40	岸和田市	134.2	80	宮崎市	122.1

81
~
136

山形市, 福島市, いわき市, 水戸市, 日立市, つくば市, 宇都宮市, 前橋市, 高崎市, 伊勢崎市, 太田市, 川崎市, 熊谷市, 所沢市, 春日部市, 上尾市, 越谷市, 松戸市, 柏市, 流山市, 八王子市, 町田市, 小平市, 西東京市, 相模原市, 鎌倉市, 小田原市, 長岡市, 上越市, 福井市, 甲府市, 浜松市, 沼津市, 富士市, 豊橋市, 岡崎市, 豊川市, 安城市, 津市, 四日市市, 鈴鹿市, 大津市, 加古川市, 和歌山市, 鳥取市, 松江市, 出雲市, 倉敷市, 福山市, 下関市, 徳島市, 高松市, 佐賀市, 長崎市, 佐世保市, 大分市

(市区町村コード順)

合計スコア

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	1,237.2	41	川崎市	826.2
2	横浜市	1,152.1	42	佐賀市	826.1
3	名古屋市	1,138.3	43	豊中市	826.0
4	福岡市	1,138.1	44	姫路市	824.9
5	京都市	1,129.3	45	三鷹市	820.9
6	神戸市	1,010.8	46	調布市	819.6
7	仙台市	976.8	47	安城市	818.5
8	松本市	949.0	48	福井市	815.3
9	金沢市	948.1	49	前橋市	809.4
10	札幌市	929.4	50	倉敷市	809.2
11	つくば市	927.1	51	東広島市	806.8
12	静岡市	924.2	52	宝塚市	806.3
13	浜松市	917.0	53	盛岡市	803.1
14	広島市	915.0	54	鳥取市	803.0
15	浦安市	901.3	55	豊川市	802.0
16	豊田市	891.6	56	茨木市	801.9
17	長野市	885.7	57	松江市	800.9
18	熊本市	882.7	58	藤沢市	800.8
19	鹿児島市	881.2	59	山形市	800.8
20	北九州市	872.3	60	立川市	800.6
21	岐阜市	871.6	61	甲府市	800.0
22	西宮市	865.7	62	山口市	799.5
23	奈良市	864.1	63	大分市	796.0
24	さいたま市	862.0	64	那覇市	795.9
25	豊橋市	853.1	65	宇都宮市	794.9
26	吹田市	852.3	66	八王子市	790.7
27	長崎市	850.2	67	高崎市	789.1
28	岡山市	848.9	68	津市	788.4
29	宮崎市	847.3	69	厚木市	785.1
30	府中市	842.6	70	沼津市	784.0
31	鎌倉市	842.3	71	秋田市	783.5
32	岡崎市	841.7	72	水戸市	782.9
33	大津市	838.8	73	四日市市	781.1
34	高松市	835.4	74	小田原市	779.5
35	千葉市	834.3	75	郡山市	776.3
36	富山市	833.7	76	高槻市	776.0
37	出雲市	831.2	77	福島市	774.2
38	松山市	830.4	78	一宮市	773.0
39	新潟市	827.8	79	宇治市	771.5
40	久留米市	826.8	80	明石市	768.3

81
~
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,富士市,春日井市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,呉市,福山市,下関市,徳島市,高知市,佐世保市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では、「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコア算出のために、まずは、各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、86指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル

指標数23/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	56.5	41	秋田市	43.3
2	大阪市	52.3	42	高松市	43.2
3	豊中市	51.6	43	久留米市	43.2
4	名古屋市	51.1	44	伊丹市	43.2
5	浦安市	50.4	45	長野市	43.1
6	西宮市	48.8	46	川崎市	43.0
7	吹田市	48.7	47	大分市	42.9
8	神戸市	48.5	48	盛岡市	42.8
9	静岡市	48.2	49	豊川市	42.8
10	熊本市	47.8	50	つくば市	42.3
11	鹿児島市	47.6	51	府中市	42.3
12	松本市	47.5	52	新潟市	42.3
13	広島市	47.1	53	鳥取市	42.2
14	仙台市	46.7	54	福井市	42.0
15	横浜市	45.9	55	三鷹市	42.0
16	佐賀市	45.2	56	富士市	41.9
17	北九州市	45.1	57	大津市	41.7
18	奈良市	45.1	58	松江市	41.7
19	岐阜市	45.0	59	那覇市	41.6
20	豊田市	45.0	60	春日井市	41.5
21	千葉市	45.0	61	枚方市	41.5
22	出雲市	44.9	62	調布市	41.4
23	浜松市	44.8	63	藤沢市	41.4
24	さいたま市	44.6	64	前橋市	41.2
25	京都市	44.6	65	高槻市	40.8
26	豊橋市	44.5	66	津市	40.8
27	松山市	44.5	67	流山市	40.7
28	長崎市	44.4	68	高崎市	40.7
29	宮崎市	44.4	69	安城市	40.6
30	一宮市	44.2	70	習志野市	40.6
31	金沢市	44.1	71	青森市	40.6
32	東広島市	43.6	72	高知市	40.6
33	茨木市	43.5	73	八千代市	40.5
34	甲府市	43.5	74	倉敷市	40.5
35	堺市	43.5	75	富山市	40.5
36	山口市	43.5	76	姫路市	40.4
37	宝塚市	43.5	77	佐世保市	40.4
38	岡山市	43.4	78	大和市	40.3
39	明石市	43.4	79	札幌市	40.3
40	岡崎市	43.3	80	和歌山市	40.2

81 函館市、旭川市、苫小牧市、八戸市、山形市、福島市、郡山市、いわき市、水戸市、日立市、宇都宮市、伊勢崎市、太田市、川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、市川市、船橋市、松戸市、柏市、市原市、八王子市、立川市、町田市、小平市、日野市、西東京市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、長岡市、上越市、沼津市、四日市市、鈴鹿市、宇治市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、和泉市、東大阪市、尼崎市、加古川市、呉市、福山市、下関市、徳島市

(市区町村コード順)



ファミリー

指標数40/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	55.4	41	岡崎市	45.7
2	松本市	50.7	42	水戸市	45.7
3	出雲市	49.9	43	盛岡市	45.6
4	熊本市	49.7	44	福井市	45.6
5	鹿児島市	49.7	45	大津市	45.3
6	仙台市	49.5	46	千葉市	45.2
7	名古屋市	49.4	47	山形市	45.2
8	大阪市	49.2	48	岡山市	45.0
9	神戸市	48.8	49	佐世保市	45.0
10	静岡市	48.8	50	高崎市	44.8
11	浜松市	48.8	51	大分市	44.7
12	宮崎市	48.7	52	さいたま市	44.6
13	金沢市	48.4	53	甲府市	44.5
14	豊橋市	48.4	54	明石市	44.5
15	岐阜市	48.4	55	茨木市	44.4
16	西宮市	48.2	56	宝塚市	44.4
17	豊中市	48.0	57	姫路市	44.3
18	久留米市	47.7	58	津市	44.2
19	豊田市	47.7	59	札幌市	44.1
20	浦安市	47.5	60	郡山市	44.0
21	松山市	47.5	61	一宮市	44.0
22	鳥取市	47.4	62	東広島市	44.0
23	つくば市	47.4	63	高知市	43.9
24	長崎市	47.4	64	青森市	43.9
25	富山市	47.2	65	富士市	43.9
26	佐賀市	47.1	66	高槻市	43.8
27	前橋市	46.9	67	下関市	43.5
28	北九州市	46.8	68	和歌山市	43.3
29	新潟市	46.8	69	宇都宮市	43.3
30	奈良市	46.8	70	福島市	43.2
31	横浜市	46.8	71	春日井市	43.2
32	高松市	46.7	72	安城市	43.2
33	吹田市	46.6	73	徳島市	43.1
34	広島市	46.6	74	堺市	43.0
35	山口市	46.4	75	倉敷市	43.0
36	秋田市	46.1	76	函館市	42.9
37	長野市	46.1	77	福山市	42.8
38	京都市	45.8	78	府中市	42.7
39	松江市	45.8	79	八戸市	42.6
40	豊川市	45.7	80	沼津市	42.5

旭川市、苫小牧市、いわき市、日立市、伊勢崎市、太田市、川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、八王子市、立川市、三鷹市、調布市、町田市、小平市、日野市、西東京市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、四日市市、鈴鹿市、宇治市、岸和田市、枚方市、八尾市、寝屋川市、和泉市、東大阪市、尼崎市、伊丹市、加古川市、呉市、那覇市

(市区町村コード順)



シニア

指標数36/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	54.3	41	松山市	46.3
2	松本市	53.5	42	茨木市	46.2
3	浦安市	51.9	43	佐世保市	46.1
4	仙台市	51.2	44	札幌市	46.0
5	西宮市	51.1	45	東広島市	46.0
6	出雲市	50.6	46	京都市	45.9
7	熊本市	50.3	47	鳥取市	45.9
8	豊橋市	50.2	48	津市	45.7
9	静岡市	49.7	49	府中市	45.6
10	浜松市	49.5	50	北九州市	45.6
11	宮崎市	49.2	51	千葉市	45.5
12	金沢市	49.2	52	三鷹市	45.5
13	長野市	49.1	53	明石市	45.5
14	広島市	48.9	54	水戸市	45.5
15	神戸市	48.9	55	新潟市	45.4
16	吹田市	48.8	56	藤沢市	45.3
17	前橋市	48.6	57	岡山市	45.2
18	鹿児島市	48.5	58	秋田市	45.2
19	長崎市	48.4	59	高知市	45.1
20	豊中市	48.3	60	茅ヶ崎市	44.9
21	佐賀市	48.1	61	甲府市	44.8
22	岐阜市	48.0	62	富士市	44.8
23	奈良市	47.5	63	高松市	44.7
24	豊田市	47.4	64	安城市	44.6
25	横浜市	47.3	65	八王子市	44.5
26	岡崎市	47.1	66	さいたま市	44.4
27	豊川市	47.0	67	高槻市	44.3
28	つくば市	47.0	68	宇都宮市	44.3
29	名古屋市	46.8	69	枚方市	44.3
30	大津市	46.7	70	相模原市	44.2
31	高崎市	46.7	71	徳島市	44.1
32	久留米市	46.6	72	沼津市	44.1
33	大分市	46.5	73	郡山市	44.0
34	山口市	46.5	74	調布市	43.9
35	山形市	46.5	75	日立市	43.8
36	松江市	46.5	76	下関市	43.7
37	福井市	46.4	77	厚木市	43.4
38	宝塚市	46.4	78	立川市	43.4
39	富山市	46.4	79	所沢市	43.4
40	盛岡市	46.3	80	大阪市	43.4

81 函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,いわき市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,小田原市,大和市,長岡市,上越市,一宮市,春日井市,四日市市,鈴鹿市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,倉敷市,呉市,福山市,那覇市

(市区町村コード順)



観光客

指標数33/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	51.0	41	佐世保市	27.2
2	横浜市	50.8	42	宝塚市	27.2
3	京都市	49.4	43	岡山市	27.2
4	福岡市	42.8	44	調布市	27.1
5	名古屋市	39.3	45	岐阜市	27.1
6	神戸市	39.1	46	藤沢市	27.0
7	仙台市	35.5	47	富山市	26.9
8	札幌市	35.0	48	豊田市	26.7
9	広島市	34.8	49	倉敷市	26.7
10	金沢市	34.4	50	下関市	26.6
11	静岡市	34.0	51	大分市	26.5
12	松本市	33.4	52	秋田市	26.5
13	長崎市	32.5	53	高知市	26.5
14	奈良市	32.2	54	水戸市	26.3
15	浦安市	32.0	55	つくば市	26.2
16	北九州市	30.9	56	鳥取市	26.1
17	熊本市	30.7	57	青森市	26.0
18	鹿児島市	30.6	58	八王子市	25.9
19	鎌倉市	30.6	59	久留米市	25.9
20	大津市	30.2	60	和歌山市	25.9
21	那覇市	30.1	61	明石市	25.8
22	千葉市	30.0	62	宇治市	25.8
23	浜松市	29.8	63	東広島市	25.8
24	盛岡市	29.8	64	川越市	25.8
25	西宮市	29.5	65	佐賀市	25.7
26	函館市	29.3	66	三鷹市	25.6
27	出雲市	29.1	67	吹田市	25.5
28	長野市	29.1	68	立川市	25.5
29	高松市	29.0	69	豊中市	25.4
30	横須賀市	28.9	70	山形市	25.3
31	府中市	28.8	71	呉市	25.2
32	姫路市	28.5	72	沼津市	25.2
33	松山市	28.2	73	甲府市	25.0
34	さいたま市	28.2	74	豊橋市	25.0
35	川崎市	28.1	75	茅ヶ崎市	25.0
36	新潟市	28.0	76	福島市	24.9
37	小田原市	28.0	77	高槻市	24.9
38	松江市	27.9	78	岡崎市	24.8
39	山口市	27.9	79	長岡市	24.5
40	宮崎市	27.6	80	高崎市	24.4

旭川市,苫小牧市,八戸市,郡山市,いわき市,日立市,宇都宮市,前橋市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,厚木市,大和市,上越市,福井市,富士市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,福山市,徳島市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores



経営者

指標数36/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	55.7	41	大津市	26.5
2	名古屋市	45.0	42	小平市	26.4
3	福岡市	41.0	43	郡山市	26.2
4	横浜市	40.6	44	豊川市	26.1
5	神戸市	35.2	45	八王子市	26.1
6	京都市	34.7	46	日野市	26.1
7	浦安市	34.1	47	鈴鹿市	26.0
8	札幌市	32.8	48	佐賀市	26.0
9	豊田市	31.7	49	高松市	25.9
10	仙台市	31.6	50	船橋市	25.9
11	川崎市	30.7	51	厚木市	25.8
12	安城市	30.4	52	北九州市	25.7
13	つくば市	30.2	53	川口市	25.7
14	金沢市	29.9	54	宮崎市	25.7
15	府中市	29.6	55	熊本市	25.7
16	さいたま市	29.5	56	流山市	25.6
17	吹田市	29.5	57	姫路市	25.5
18	広島市	29.4	58	一宮市	25.4
19	岡山市	29.3	59	宇都宮市	25.3
20	静岡市	29.2	60	富山市	25.3
21	調布市	29.0	61	福井市	25.2
22	浜松市	28.9	62	相模原市	25.0
23	四日市市	28.7	63	新潟市	25.0
24	豊中市	28.5	64	八千代市	25.0
25	東広島市	28.4	65	藤沢市	24.9
26	西宮市	28.4	66	久留米市	24.9
27	三鷹市	28.4	67	西東京市	24.9
28	岐阜市	28.3	68	春日井市	24.9
29	立川市	28.3	69	福島市	24.8
30	市川市	28.0	70	宝塚市	24.8
31	茨木市	27.7	71	堺市	24.8
32	松本市	27.6	72	松山市	24.8
33	習志野市	27.5	73	倉敷市	24.8
34	鹿児島市	27.0	74	尼崎市	24.7
35	岡崎市	26.9	75	那覇市	24.7
36	福山市	26.8	76	山口市	24.6
37	豊橋市	26.7	77	高槻市	24.6
38	千葉市	26.7	78	盛岡市	24.5
39	柏市	26.6	79	津市	24.5
40	長野市	26.6	80	松戸市	24.3

81 函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,秋田市,山形市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,町田市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,甲府市,沼津市,富士市,宇治市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,136 東大阪市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,徳島市,高知市,長崎市,佐世保市,大分市

(市区町村コード順)



従業者

指標数19/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	52.4	41	堺市	30.8
2	名古屋市	44.5	42	東大阪市	30.8
3	福岡市	42.5	43	宮崎市	30.8
4	浦安市	36.4	44	府中市	30.7
5	京都市	35.8	45	鳥取市	30.7
6	横浜市	35.6	46	さいたま市	30.7
7	広島市	35.5	47	下関市	30.6
8	静岡市	34.8	48	市川市	30.5
9	鹿児島市	34.6	49	山形市	30.3
10	川崎市	34.4	50	秋田市	30.3
11	神戸市	34.3	51	函館市	30.3
12	豊中市	33.7	52	茨木市	30.3
13	尼崎市	33.6	53	伊丹市	30.2
14	久留米市	33.5	54	松山市	30.2
15	福井市	33.2	55	札幌市	30.1
16	岐阜市	33.1	56	川口市	30.0
17	金沢市	32.9	57	豊橋市	29.9
18	西宮市	32.8	58	豊田市	29.9
19	佐賀市	32.8	59	立川市	29.6
20	東広島市	32.7	60	つくば市	29.6
21	熊本市	32.6	61	津市	29.5
22	高知市	32.5	62	甲府市	29.4
23	富山市	32.4	63	福山市	29.3
24	松本市	32.3	64	習志野市	29.1
25	三鷹市	32.2	65	八尾市	28.8
26	松江市	32.1	66	八千代市	28.8
27	吹田市	31.9	67	浜松市	28.8
28	出雲市	31.9	68	奈良市	28.7
29	北九州市	31.8	69	呉市	28.7
30	千葉市	31.7	70	長崎市	28.4
31	安城市	31.7	71	豊川市	28.3
32	岡山市	31.7	72	四日市市	28.3
33	山口市	31.6	73	鈴鹿市	28.2
34	調布市	31.4	74	長岡市	28.1
35	新潟市	31.3	75	福島市	27.9
36	盛岡市	31.3	76	徳島市	27.9
37	長野市	31.2	77	青森市	27.9
38	高松市	31.2	78	岸和田市	27.8
39	仙台市	31.1	79	郡山市	27.7
40	一宮市	30.8	80	和歌山市	27.7

旭川市,苫小牧市,八戸市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,船橋市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八王子市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,藤沢市,小田原市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,沼津市,富士市,岡崎市,春日井市,大津市,宇治市,高槻市,枚方市,寝屋川市,和泉市,姫路市,明石市,加古川市,宝塚市,倉敷市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)

合計スコアの上位6区について、指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。

※偏差値は東京23区内で算出。

1

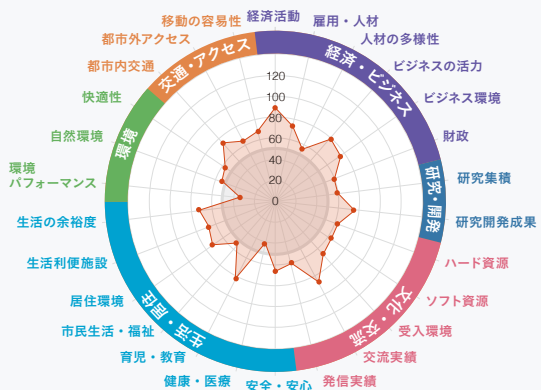
千代田区

CHIYODA-CITY



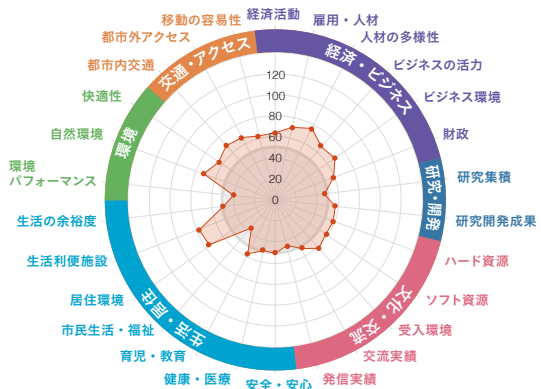
東京23区の中心部にあり、首都機能とオフィス街、住宅街が共存する千代田区は、昨年に続き**経済・ビジネス**、**生活・居住**、**交通・アクセス**の分野で対象23区中1位を獲得した他、今年は**文化・交流**においても1位となった。特にスコアを伸ばしたのが**経済・ビジネス**での「雇用・人材」や、**生活・居住**における「居住環境」、**文化・交流**の「発信実績」であり、オフィスワーカーに限らず、居住者や観光客に向けた魅力も有していることがうかがえる。

指標グループ別の偏差値



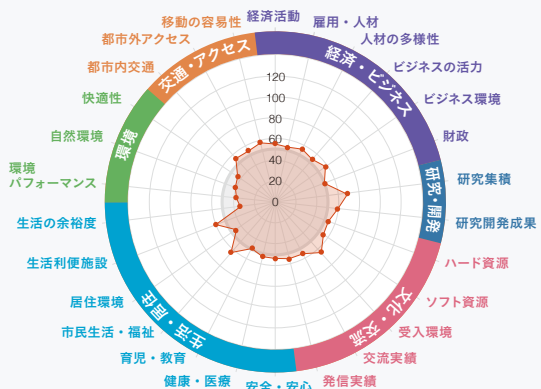
経済・ビジネス、**環境**、**交通・アクセス**で高評価を得た中央区は、生活と交通の利便性を併せ持つ自然環境豊かな都市といえる。特に、**生活・居住**の「生活利便施設」と「居住環境」の指標グループで高い評価を得ており、住みやすい環境が整備されているといえる。また、**経済・ビジネス**の「人材の多様性」や、**環境**の「自然環境」でも高い水準の偏差値を獲得しており、住みやすさだけでなく、多様な魅力を有していることがわかる。

指標グループ別の偏差値



東京都庁周辺のビジネス街と、歌舞伎町などの歓楽街を併せ持つ新宿では、**経済・ビジネス**、**研究・開発**、**文化・交流**において対象23区中トップ5に入っている。**経済・ビジネス**および**研究・開発**では、それぞれ2つの指標グループが5位以内であり、**文化・交流**では「受入環境」における指標の評価が高い。**交通・アクセス**では「移動の容易性」における指標のスコアが高く、JR新宿駅を中心とした鉄道ネットワークの強さがうかがえる。

指標グループ別の偏差値



新宿区

SHINJUKU-CITY



2

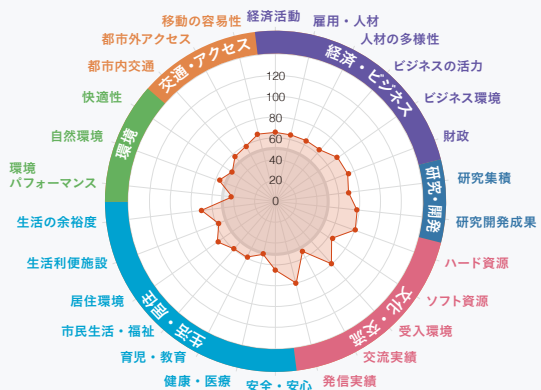
港区

MINATO-CITY



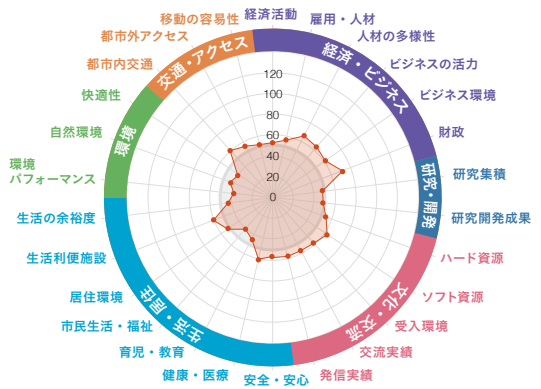
全ての分野で高評価を得ている港区は、今年も**研究・開発**で1位を維持した。特に特許取得数、グローバルニッチトップ企業数、トップ大学数で高い評価を得た。また、順位を一つ下げたものの**文化・交流**も依然として評価が高く、千代田区に次ぐ順位であった。中でも「ハード資源」における景観まちづくりへの積極度や「受入環境」の高級宿泊施設客室数、「発信実績」の観光客誘致活動をはじめとして、様々な指標で1位を獲得した。

指標グループ別の偏差値



渋谷区は昨年と同様、**文化・交流**が3位、**経済・ビジネス**および**交通・アクセス**が4位、**生活・居住**が5位と、4つの分野で高い評価を維持した。一方で、昼間人口あたりCO₂排出量の少なさや、街路の清潔さ、自然環境の満足度、再生可能エネルギー自給率といった指標で高評価を得ることができず、**環境**の評価が低かった。渋谷区は他分野ですでに高い評価を得ているため、**環境**の改善によって都市力の飛躍的な向上が見込まれる。

指標グループ別の偏差値



渋谷区

SHIBUYA-CITY



6

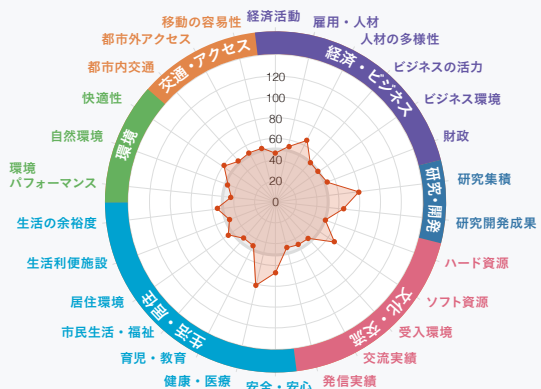
文京区

BUNKYO-CITY



多くの大学や研究機関が集まる知識の中心地として知られている文京区は、**研究・開発**の「研究集積」で高評価を得た。**生活・居住**においては、「健康・医療」が高い水準の偏差値を獲得しており、医師の多さが高評価に繋がっている。文京区は、将来都市像を（歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち「文（ふみ）の京（みやこ）」）と定めており、**環境**と**文化・交流**の評価を高めていけばその将来像に近づくことが期待される。

指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	449.5
2	港区	388.0
3	中央区	380.4
4	渋谷区	331.2
5	新宿区	286.2
6	品川区	267.5
7	文京区	257.5
8	目黒区	253.9
9	江東区	241.2
10	豊島区	238.0
11	台東区	229.5
12	中野区	223.6
13	世田谷区	222.3
14	杉並区	216.2
15	墨田区	215.4
16 23	大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



研究・開発

順位	都市名	スコア
1	港区	86.2
2	千代田区	73.6
3	文京区	70.9
4	新宿区	53.8
5	中央区	28.6
6	目黒区	20.0
7	渋谷区	17.3
8	江東区	16.1
9	世田谷区	14.2
10	大田区	14.1
11	豊島区	13.9
12	品川区	13.3
13	板橋区	7.5
14	葛飾区	6.3
15	荒川区	5.8
16 23	台東区, 墨田区, 中野区, 杉並区, 北区, 練馬区, 足立区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



文化・交流

順位	都市名	スコア
1	千代田区	199.8
2	港区	197.7
3	渋谷区	143.8
4	江東区	139.4
5	新宿区	132.6
6	台東区	127.2
7	中央区	117.4
8	文京区	104.6
9	墨田区	92.5
10	豊島区	89.5
11	品川区	83.5
12	世田谷区	73.2
13	大田区	63.3
14	目黒区	62.9
15	葛飾区	54.8
16 23	中野区, 杉並区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



生活・居住

順位	都市名	スコア
1	千代田区	406.8
2	中央区	388.7
3	港区	376.8
4	文京区	348.7
5	渋谷区	335.4
6	新宿区	326.0
7	台東区	308.9
8	目黒区	304.7
9	豊島区	301.8
10	世田谷区	297.0
11	板橋区	292.3
12	品川区	291.8
13	杉並区	290.4
14	練馬区	281.1
15	墨田区	277.4
16 23	江東区, 大田区, 中野区, 北区, 荒川区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



環境

順位	都市名	スコア
1	江東区	148.1
2	中央区	146.0
3	江戸川区	125.2
4	練馬区	121.2
5	葛飾区	119.7
6	杉並区	119.6
7	世田谷区	119.2
8	港区	117.9
9	千代田区	117.5
10	品川区	116.3
11	文京区	114.6
12	墨田区	114.2
13	目黒区	111.1
14	北区	109.9
15	大田区	107.7
16 23	新宿区, 台東区, 渋谷区, 中野区, 豊島区, 荒川区, 板橋区, 足立区 (市区町村コード順)	



交通・アクセス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	204.6
2	中央区	200.4
3	港区	187.5
4	渋谷区	180.7
5	台東区	179.5
6	新宿区	178.3
7	品川区	177.5
8	江東区	176.1
9	文京区	172.5
10	大田区	169.8
11	豊島区	168.9
12	目黒区	162.4
13	墨田区	162.2
14	中野区	161.2
15	荒川区	160.3
16 23	世田谷区, 杉並区, 北区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

合計スコア

順位	都市名	スコア
1	千代田区	1,451.8
2	港区	1,354.2
3	中央区	1,261.4
4	渋谷区	1,104.3
5	新宿区	1,071.4
6	文京区	1,068.8
7	江東区	978.5
8	品川区	949.9
9	台東区	948.1
10	目黒区	915.0
11	豊島区	894.7
12	世田谷区	881.2
13	墨田区	865.7
14	杉並区	835.1
15	大田区	823.1
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では「アクター」(シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者)を6設定した。アクター別スコアの算出のために、まずは各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、86指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数23/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	60.6
2	中央区	60.6
3	港区	56.8
4	文京区	51.3
5	渋谷区	50.4
6	新宿区	48.9
7	台東区	48.2
8	目黒区	47.7
9	品川区	47.6
10	豊島区	46.0
11	世田谷区	45.7
12	杉並区	45.3
13	板橋区	44.5
14	江東区	43.4
15	練馬区	43.2
16 23	墨田区、大田区、中野区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



ファミリー 指標数40/86

順位	都市名	スコア
1	中央区	55.7
2	千代田区	54.1
3	港区	53.1
4	文京区	48.7
5	渋谷区	46.6
6	新宿区	45.7
7	目黒区	44.9
8	品川区	44.4
9	台東区	44.4
10	世田谷区	43.7
11	江東区	43.4
12	杉並区	42.9
13	墨田区	42.4
14	練馬区	42.3
15	豊島区	42.1
16 23	大田区、中野区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



シニア 指標数36/86

順位	都市名	スコア
1	中央区	57.4
2	千代田区	57.2
3	港区	53.8
4	文京区	51.5
5	渋谷区	48.0
6	新宿区	47.2
7	目黒区	46.4
8	品川区	46.3
9	台東区	45.7
10	江東区	45.5
11	杉並区	45.2
12	世田谷区	45.1
13	墨田区	44.3
14	練馬区	43.8
15	板橋区	43.2
16 23	大田区、中野区、豊島区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



観光客 指標数33/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	47.7
2	港区	45.2
3	中央区	43.8
4	江東区	38.3
5	渋谷区	36.8
6	新宿区	35.2
7	台東区	35.0
8	文京区	33.3
9	品川区	31.3
10	墨田区	29.9
11	世田谷区	28.7
12	豊島区	28.3
13	目黒区	27.6
14	大田区	26.7
15	杉並区	26.5
16 23	中野区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



経営者 指標数36/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	67.6
2	港区	61.3
3	中央区	56.5
4	渋谷区	48.9
5	新宿区	45.5
6	文京区	41.3
7	品川区	41.2
8	江東区	40.3
9	目黒区	38.4
10	豊島区	37.9
11	台東区	36.9
12	中野区	34.3
13	大田区	34.1
14	世田谷区	33.7
15	杉並区	33.2
16 23	墨田区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



従業者 指標数19/86

順位	都市名	スコア
1	中央区	67.8
2	千代田区	65.2
3	港区	58.0
4	渋谷区	54.1
5	新宿区	51.4
6	台東区	50.6
7	豊島区	47.1
8	品川区	46.3
9	文京区	46.0
10	墨田区	43.9
11	目黒区	43.8
12	江東区	41.1
13	荒川区	40.5
14	中野区	40.4
15	大田区	39.5
16 23	世田谷区、杉並区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	

City Perception Survey Japan 都市のイメージ調査

1 背景と目的

森記念財団都市戦略研究所は、「日本の都市特性評価（JPC）」を通じて、日本の主要都市が有する強みや魅力といった都市特性を明らかにしているが、それらの特性に加えて、各都市が有する都市のイメージも、今後の都市政策を考える上で重要な要素である。そこで、当調査研究では、アンケート調査を通じて居住者や非居住者が抱いている「都市のイメージ」を単語や文章として引き出し、それらを分析・可視化することで、今後の各都市のイメージブランディング戦略に資することを目的とする。

※全都市の結果については、森記念財団のウェブサイト参照。

2 アンケート調査

1) 居住者アンケート調査

- 実施期間：2022年3月
- 回答者：JPC対象都市に居住の20歳以上の男女
- 有効回収数：各都市300サンプル
- 質問内容：回答者が居住している都市に対するイメージを、単語もしくは数行の文章で回答。

2) 非居住者アンケート調査

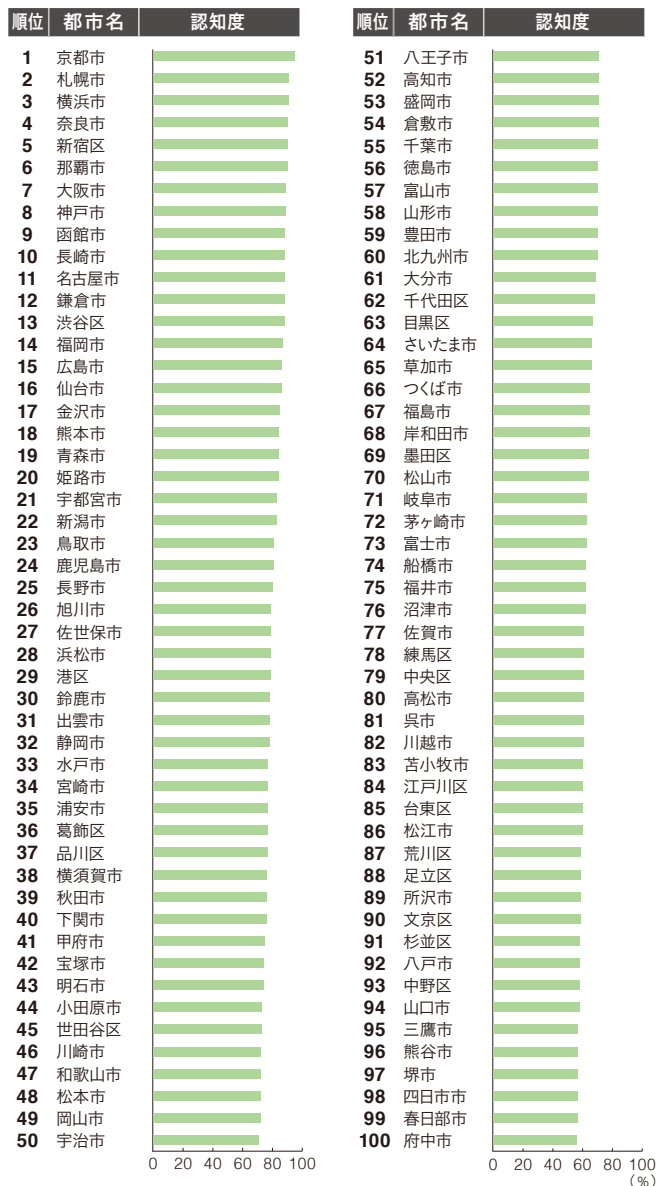
- 実施期間：2023年3月
- 回答者：JPC対象都市に居住の20歳以上の男女
- 有効回収数：各都市約900サンプル
- 質問内容：無作為に抽出されたJPC対象都市についてのイメージを、単語もしくは数行の文章で回答。

3 分析方法

調査分析を行うにあたり、同義語や類義語は可能な限り表現を統一し、回答における誤字や脱字は修正を行った。また、「特にイメージはない」や「思い浮かばない」など、明確なイメージがない際の回答は「イメージなし」に統一した。

都市のイメージ認知度（非居住者）

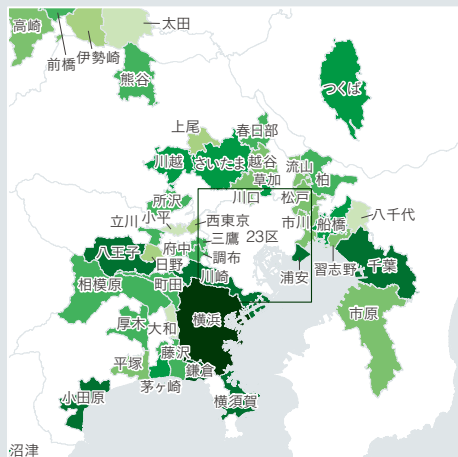
JPC対象都市における「都市のイメージ認知度」分析を行った。分析にあたっては、各都市において、「イメージなし」の回答数を除いた回答数の割合を「都市のイメージ認知度」と定義した。



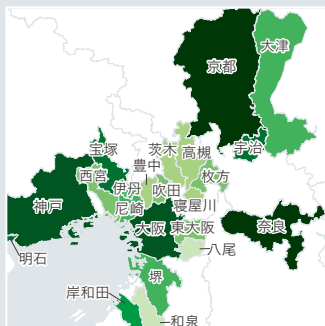
郡山市、いわき市、日立市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、川口市、上尾市、越谷市、市川市、松戸市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、江東区、大田区、豊島区、北区、板橋区、立川市、調布市、町田市、小平市、日野市、西東京市、相模原市、平塚市、藤沢市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、豊橋市、岡崎市、一宮市、春日井市、豊川市、安城市、津市、大津市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、茨木市、八尾市、寝屋川市、和泉市、東大阪市、尼崎市、西宮市、伊丹市、加古川市、福山市、東広島市、久留米市
(市区町村コード順)

都市のイメージ認知度（非居住者）の割合と分布状況

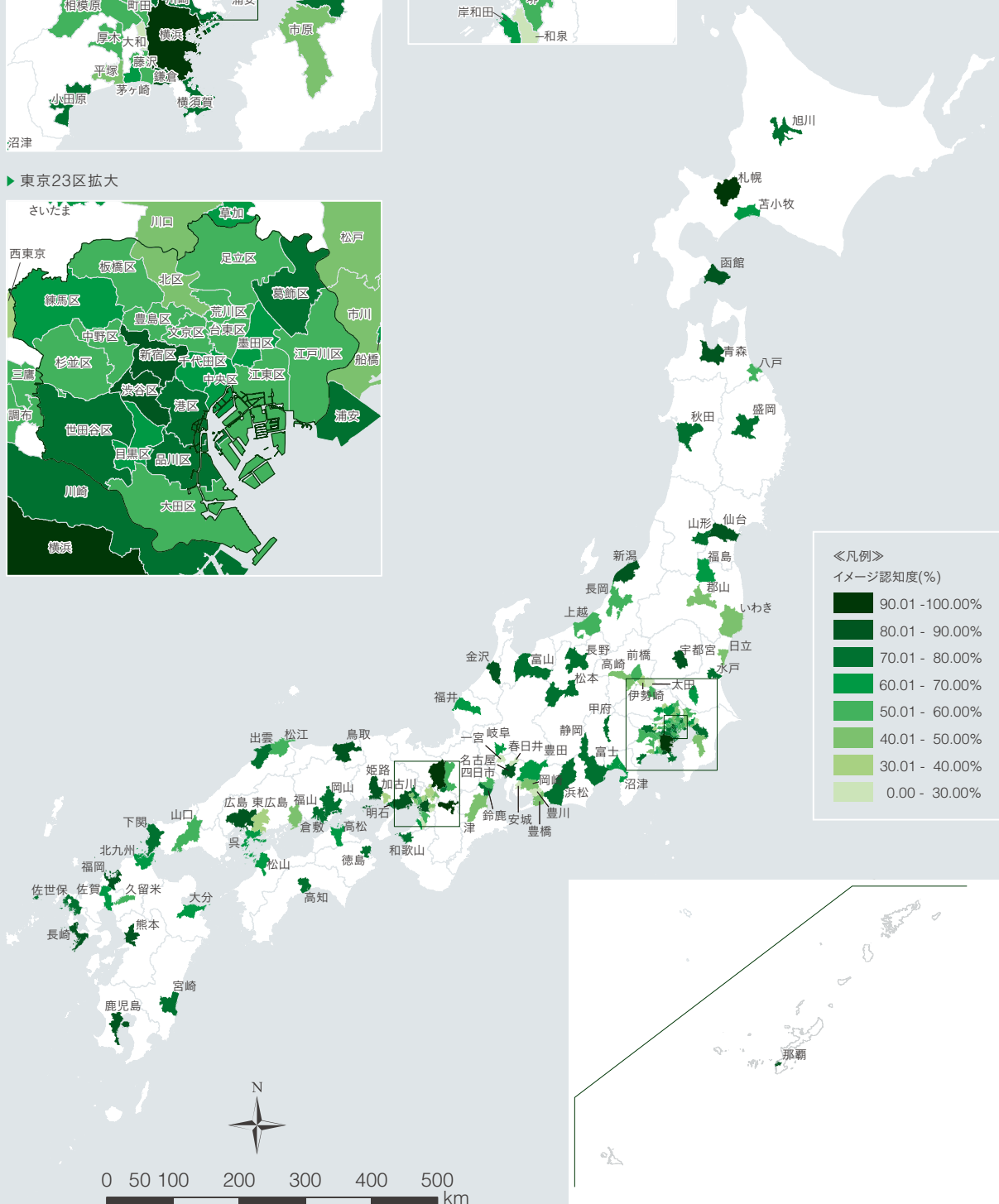
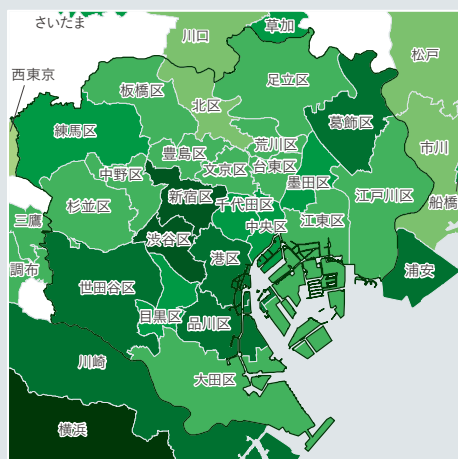
▶ 関東エリア一部拡大



▶ 関西エリア一部拡大



▶ 東京23区拡大



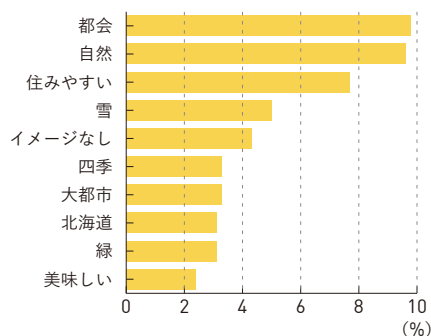
都市のイメージキーワード トップ10(居住者および非居住者(訪問経験あり・なし))

各都市において出現頻度の高いキーワードのトップ10を抽出した。概要版では特徴的な回答を得られた6都市を掲載する。左図は居住者の回答、中図は非居住者のうち訪問経験がある人の回答、右図は非居住者かつ訪問経験がない人の回答を表している。

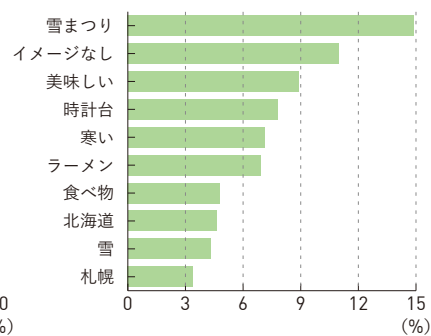
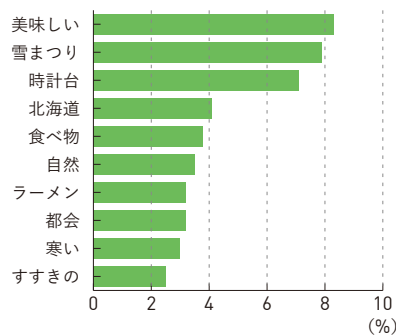
※全都市の結果については、森記念財団のウェブサイト参照。

【札幌市】

居住者



非居住者(イメージ認知度:91%)

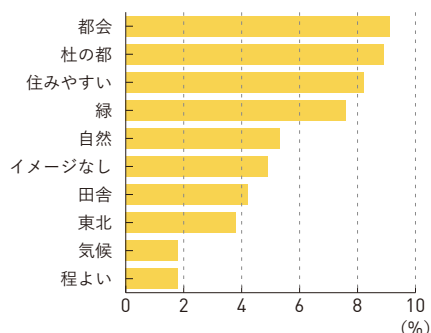


[訪問経験あり]

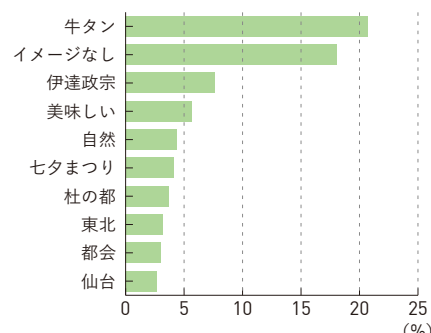
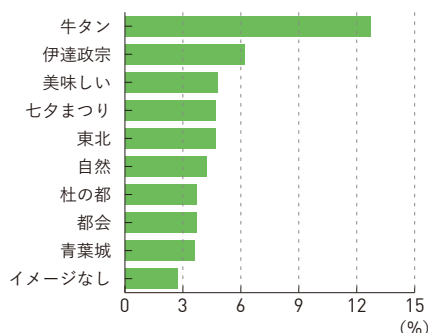
[訪問経験なし]

【仙台市】

居住者



非居住者(イメージ認知度:86%)

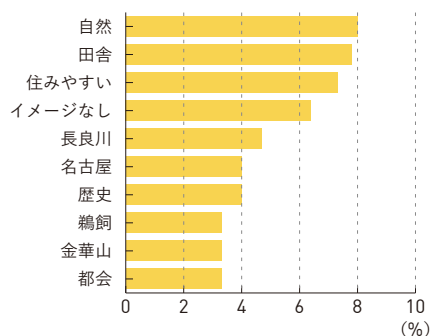


[訪問経験あり]

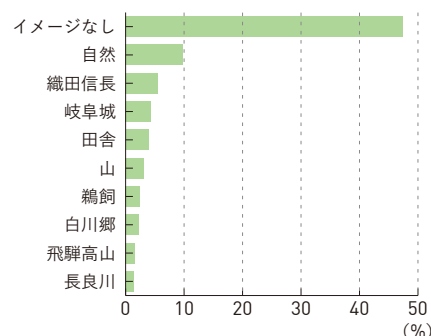
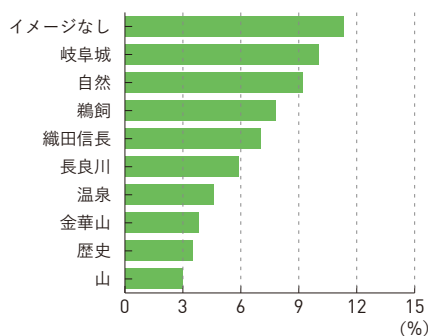
[訪問経験なし]

【岐阜市】

居住者



非居住者(イメージ認知度:63%)

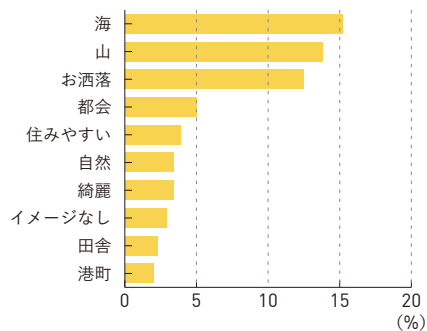


[訪問経験あり]

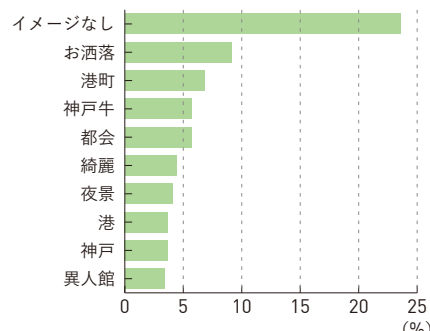
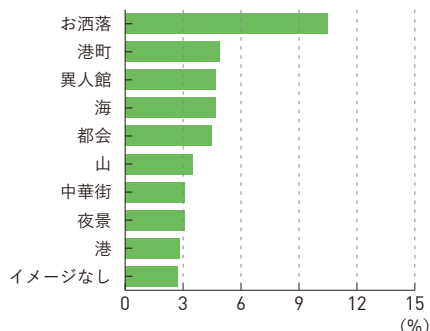
[訪問経験なし]

【神戸市】

居住者



非居住者 (イメージ認知度:89%)

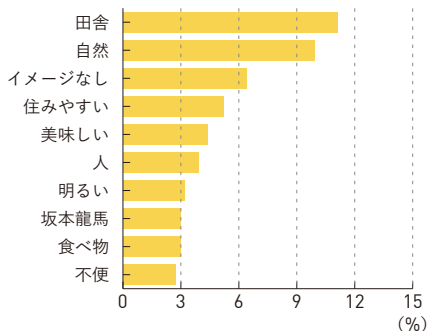


〔訪問経験あり〕

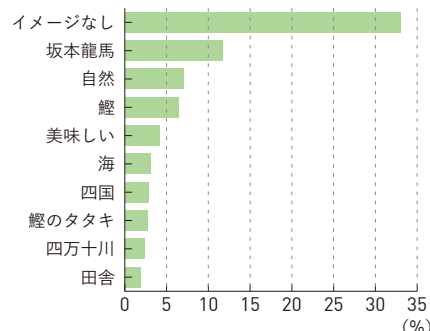
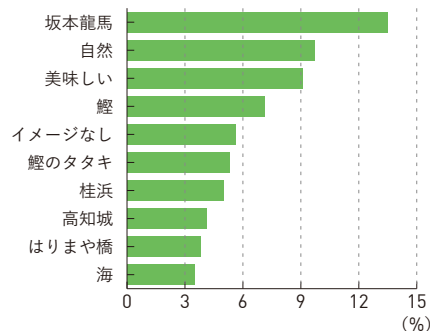
〔訪問経験なし〕

【高知市】

居住者



非居住者 (イメージ認知度:71%)

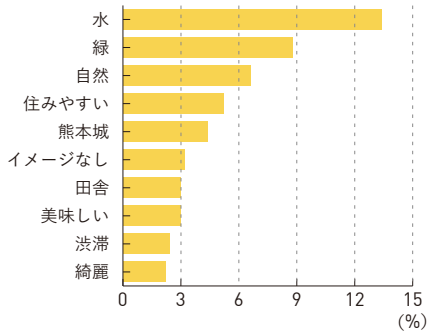


〔訪問経験あり〕

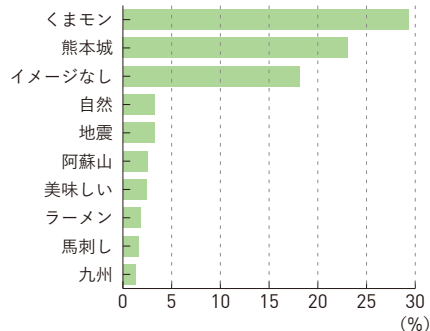
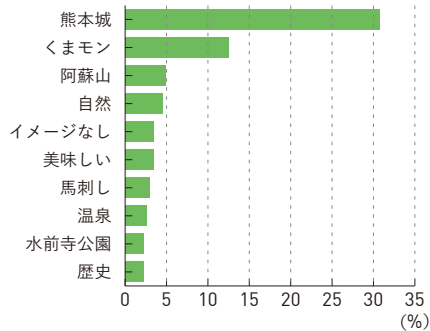
〔訪問経験なし〕

【熊本市】

居住者



非居住者 (イメージ認知度:84%)



〔訪問経験あり〕

〔訪問経験なし〕

指標の定義

Definitions of Indicators

指標は、統計資料などにもとづく定量データ（計80指標）および森記念財団が実施した居住者アンケート（計7指標）を用いて設定した。データの取得方法の概要は以下の(1)および(2)の通りである。

(1) 統計資料などにもとづく定量データ（計80指標）

- ・可能な限り、公的な統計資料からデータを取得する
- ・公的な統計によらないデータについては、出典が明確なものを採用する
- ・データの取得期間は、2023年1月～3月

(2) 居住者アンケート（計7指標）

- ・調査方法：インターネット調査
- ・回答者：20歳以上の対象159都市の居住者
- ・有効回収数：計47,700人（各都市300人）。男女比は1:1、年代は20歳～59歳と60歳以上の比率を概ね6:4とした。
- ・調査時期：2023年3月
- ・調査実施会社：株式会社サーベイリサーチセンター

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
経済・ビジネス	経済活動	1	付加価値額	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「付加価値額(企業単位)」(出典：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工)。
		2	地域内総支出	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「総支出(地域内ベース)」(出典：環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」)。
		3	昼夜間人口比率	総務省統計局「国勢調査結果」における昼夜間人口比率(従業地・通学地による人口を常住地による人口で除した割合)。
	雇用・人材	4	従業者数	総務省統計局「経済センサス活動調査結果」における「産業(大分類)、経営組織(4区分)別民営事業所数、男女別従業者数および1事業所当たり従業者数—都道府県、市区町村」に掲載されている「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))。
		5	賃金水準	総務省統計局「経済センサス活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))で除した値。
		6	高等教育修了者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「産業等基本集計(労働力状態、就業者の産業など)」に掲載されている高等教育修了者(「卒業者 短大・高専」「卒業者 大学」「卒業者 大学院」)を同調査の18歳以上人口で除した値。なお、専門学校卒業者はその修業年限によって、上記どちらかに区分される。
		7	若手人材の転入出	総務省統計局「国勢調査結果」における平成22年時点の高等教育機関へ入学する前の世代(15～19歳)の人口と、「国勢調査結果」における令和2年時点の高等教育を修了した世代(25～29歳)の人口の増減の比。
	人材の多様性	8	女性就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている15～64歳の女性就業者数を、同調査に掲載されている15～64歳総就業者数で除した値。
		9	外国人就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」における「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている15歳以上の外国人就業者数を、同調査の15歳以上の就業者数で除した値。掲載のない都市は各都道府県労働局に掲載されている数を用いた。該当局にも掲載がない都市は外国人人口を用いて推計した。
		10	高齢者就業率	総務省統計局「国勢調査結果」における「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」に掲載されている65歳以上就業者数を、同調査の65歳以上人口で除した値。
	ビジネスの活力	11	新規設立法人登記割合	国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の各都市の総法人数のうち、過去1年間に新たに法人番号が指定された法人数の割合。
		12	労働生産性	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「付加価値額(企業単位)」(出典：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工)を、総務省統計局の「経済センサス活動調査結果」に掲載されている「事業所に関する集計」における「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))で除した値。
		13	完全失業率	総務省統計局「国勢調査結果」における完全失業者数を労働力人口で除した値。
	ビジネス環境	14	特区制度認定数	内閣府地方創生推進事務局において「国家戦略特区」に認定された事業数および「総合特区」、「構造改革特区」の特区数をそれぞれ指数化し、合算した値。なお、都道府県レベルで認定されたものは0.5の重みづけを行った。
		15	対事業所サービス従業者割合	森記念財団都市戦略研究所が独自に定義した「対事業所サービス業」をもとに、総務省統計局「経済センサス活動調査結果」より相当する産業小分類25を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載されている当該25小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))で除した割合。
		16	新規不動産業用建築物供給面積	国土交通省「建築着工統計調査報告」過去3年における「建築物：市区町村別、用途別(大分類)」のうちの「L 不動産業用建築物」の床面積の平均値。
		17	フレキシブル・ワークプレイス密度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)総務省統計局「経済センサス基礎調査結果」における「参考表4 産業(小分類)別全事業所数—全国、都道府県、市区町村」に掲載されている喫茶店数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値、(2)株式会社エググレイ「コワーキングジャパン」に掲載されているコワーキングスペース数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
	財政	18	財政力指数	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「財政力指数」。東京23区は、東京都総務局行政部「特別区普通会計決算」に掲載されている「財政力指数」。
		19	経常収支比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「経常収支比率」。
		20	実質公債費比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「実質公債費比率」。
		21	将来負担比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「将来負担比率」。東京都23区は、東京都総務局行政部「決算に基づく健全化判断比率」における「将来負担比率」。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
研究・開発	研究集積	22	学術・開発研究機関 従業者割合	総務省統計局「経済センサス基礎調査 確報集計」における「事業所に関する集計」に掲載されている「学術・開発研究機関」の従業者数を、従業者数(A～R 全産業(S公務を除く))で除して算出した割合。
		23	トップ大学数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)株式会社ベネッセコーポレーション「THE世界大学ランキング 日本版」における上位150の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。(2)Times Higher Educationの「World University Rankings」に掲載されている大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。
	研究開発成果	24	論文投稿数	文部科学省 科学技術・学術政策研究所の「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング」に掲載されている、2008～2017年の総論文数が500件以上の日本の188大学、および同研究所の「サイエンスマップ報告書」に掲載されている個別国立研究開発法人等を対象に、国立情報学研究所の「CiNii Articles」で検索し表示される2019～2021年の1年あたりの平均の論文投稿数を合計した数値。複数拠点がある場合は、その平均値を拠点数で按分し推計した。
		25	グローバルニッチ トップ企業数	経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選(GNT企業100選)選定企業一覧」に掲載されている企業の本社、営業所、事業所数などを合算した値。
		26	特許取得数	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「特許分布図」(出典：特許庁「特許情報」)に掲載されている特許情報のうち、過去5年間に取得された件数。
文化・交流	ハード資源	27	観光地の数・評価	「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「名所・見どころ」、「公園・自然」、「アウトドア アクティビティ」、「美術館・博物館・ミュージアム」、「動物園・水族館」、「アクティビティ・ゲームセンター」、「劇場・コンサート」、「テーマパーク」の8カテゴリーの観光地数と口コミ数(ただし、観光ソフト資源と思われる項目を除外)をそれぞれ指数化し合算した値。
		28	文化財指定件数	文化庁「国指定文化財等データベース」および「世界遺産(文化遺産)一覧」に掲載されている建造物、風景、特定のエリアに指定された文化財において、以下の通り文化財の種類に応じて重みづけをした値の合算値：世界遺産(3点)、国宝・特別史跡・特別名勝・重要伝統的建造物群保存地区(2点)、重要文化財・登録有形文化財(建造物)・登録記念物・史跡・名勝・重要文化的景観(1点)。
		29	景観まちづくりへの 積極度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)国土交通省「景観法の施行状況」に掲載されている、対象都市の「景観計画策定」の有無および「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定有無(有りにつき1点)。(2)『都市景観の日』実行委員会による、「都市景観大賞」「都市空間部門」「景観まちづくり活動・教育部門」および「景観づくり活動部門」「景観教育・普及啓発部門」の各賞を受賞した地区または活動数、「都市景観大賞」美しいまちなみ賞』の各賞を受賞した地区数、「都市景観100選」を受賞した都市数(1つにつき1点)。県が受賞したものは対象外とする。
	ソフト資源	30	イベントの数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「イベント」の数を指数化した値、(2)公益財団法人日本観光振興協会「miru-navi 全国観るなび」記載の「全てのイベント(全国のイベント一覧)」に記載の「郷土芸能」、「行・祭事」に分類されるイベントの数を指数化した値。
		31	クリエイティブ産業 従事者割合	国際連合開発計画(UNDP)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、および東京都産業労働局の報告書をもとに、独自に「クリエイティブ産業」を定義し、総務省統計局「経済センサス活動調査結果」より相当する産業小分類37を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載されている当該37小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した算出した割合。
		32 Q	文化・歴史・伝統への 接触機会	居住者アンケート「現在お住まいの都市は他の都市から訪れた人にとって、魅力的な文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会が多いと思いますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
	受入環境	33	宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載されている宿泊施設の総客室数。
		34	高級宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載されている宿泊施設のうち「ハイクラス」に区分される宿泊施設の客室総数。
		35	イベントホール座席数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)公益社団法人全国公立文化施設協会の「全国劇場・音楽堂等総合調査サイト」に掲載されている公立文化施設の座席数を指数化した値、(2)株式会社アイデアログの「会場ベストサーチ」に掲載されているホテルの宴会場の収容人数を指数化した値。掲載のない都市については、株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載されている宿泊施設のうち、宴会場を有するホテルの客室数から推計した。
		36	観光案内所・病院の 多言語対応	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」に掲載されている観光案内所数を、その観光案内所の多言語対応や観光案内の提供範囲等で区分されたカテゴリーで重みづけをし指数化した値。(2)日本政府観光局「外国人旅行者の受入が可能な医療機関」に掲載されている医療機関数を指数化した値。
	交流実績	37	休日の人の多さ	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「休日滞在人口(2021年14時時点、15歳以上80歳未満人口の12か月平均値)」(出典：株式会社NTTドコモ、株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」)を夜間人口で除した値。
		38	行楽・観光目的の 訪問の多さ	株式会社ナイトレイ「CITY INSIGHT」のSNS解析プラン(日本人)に掲載されている過去1年間のSNS(Twitterベース)にて投稿された飲食、レジャー、観光、宿泊の4カテゴリー位置情報の投稿数(県外居住者限定)。
		39	国際会議・展示会 開催件数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」に掲載されている「国際会議開催件数」を指数化した値(東京23区の「国際会議開催件数」は一部の国際会議のみ開催場所の記載があるため、それをもとに区別に開催件数を推計した。)、(2)株式会社ビーオービー「展示会データベース」に掲載されている「展示会開催件数」を指数化した値。
	発信実績	40	観光客誘致活動	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)国土交通省観光庁「観光地域づくり法人(DMO) 法人一覧」に掲載の市区町村単位の地域DMOを1法人につき1点、広域連携DMOと地域連携DMOを1法人につき0.5点と法人数に重みづけをし、指数化した値(東京については、独自調査により法人を追加)、(2)ツーリズムEXPOジャパンのウェブサイトに掲載されている過去5年の出展団体(民間を除く)について、市町村単位の団体を1法人につき1点(単体ではない出展も含む)、広域・都道府県レベルの団体を1法人につき0.5点と団体数に重みづけをし、指数化した値。
		41	自治体SNS フォロワー数	Facebook、Twitter、Youtube、Instagramにおける、自治体もしくは観光協会発信の公式アカウントやチャンネル(災害情報や選挙関連情報のみ発信しているものは対象外)の数が大きい方のフォロワー数をソーシャルメディア(SNS)ごとに指数化し、合算した値。
		42 Q	認知度・魅力度・ 観光意欲度	居住者アンケートにて、無作為に抽出された居住都市以外の3都市に対する「認知度」「魅力度」「観光意欲度」についての回答をもとに算出した値。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
生活・居住	安全・安心	43	刑法犯認知件数の少なさ	警視庁または、各都道府県の警察署が公表する刑法認知件数を昼間人口(千人あたり)で除した値。
		44	交通事故死亡者数の少なさ	公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダ インフォメーション」に掲載されている過去3か年の「全国市区町村別 交通事故死者数」の平均値を昼間人口(万人あたり)で除した値。
		45	災害時の安全性	次の5つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」に掲載されている、「1980年以前建築の住宅戸数」を総戸数で除した値、(2)同調査の「総戸数に占める避難場所が1km以上離れている戸数」を総戸数で除した値、(3)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「浸水想定区域面積」を総面積で除した値、(4)国土交通省国土政策局「国土数値情報」掲載の「土砂災害危険箇所データ」および「土砂災害警戒区域データ」における対象面積の合計を総面積で除した値、(5)総務省消防庁「火災年報」に掲載されている「出火件数 建物」を昼間人口(万人あたり)で除した値。
		46	空家率の低さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における「居住世帯の有無(8区分)別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数—市区町村」に掲載されている「居住世帯なし」の「空き家」のうち「その他住宅」に区分されている住宅数を、同調査の住宅総数で除した値。
	健康・医療	47	医師の多さ	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」における「医療施設従事医師数、主たる診療科・従業地による二次医療圏・市区町村別」に掲載されている「医療施設従事医師数」の総数を昼間人口(千人あたり)で除した値。
		48	病院・診療所・病床の多さ	次の3つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「医療施設(動態)調査」における施設数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値、(2)同調査における一般診療所数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値、および(3)同調査における病床数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。
		49	平均寿命・健康寿命	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「市区町村別生命表の概況 統計表1」の市区町村別平均寿命、(2)浜松医科大学「都道府県別健康寿命」。(2)は都道府県データのため、(1)の半分の重みづけをした。
	育児・教育	50	合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」に掲載されている合計特殊出生率(ベイズ推定値)。
		51	保育ニーズの充足度	厚生労働省「各市区町村における待機児童解消に向けた取組状況の『見える化』について」に掲載されている、0歳児、1・2歳児の申込者数(保育ニーズ)を定員数(整備量)で除した値。
		52	子どもの医療費支援	厚生労働省「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の「別紙3 市区町村における乳幼児等医療費援助の実施状況」に掲載されている医療費援助(通院および入院)の対象年齢に応じた点数(就学前1点、7～9歳年度末2点、12歳年度末3点、15歳年度末4点、18歳年度末5点、24歳年度末6点)、および所得制限と一部自己負担の有無(無しにつき1点、通院・入院どちらか無しの場合は0.5点)の合計点。
		53	教育機会の多様性	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)学びリンク編集部「全国フリースクールガイド小中高・不登校生の居場所探し」に掲載されているフリースクール数を指数化した値、(2) 代表的な高校偏差値情報サイトに掲載されている偏差値65以上の高校数を指数化した値。
	市民生活・福祉	54	外国人住民の受入体制	日本経済新聞が2019年2月12日に掲載した外国人住民の受け入れ体制に関する調査結果(記事見出し「外国人政策、自治体格差広がる恐れ」)を用いて、指数化した値。同調査は、日本経済新聞が主要自治体の外国人住民の受け入れに関する主な13項目の取り組み状況を調べたもので、各項目を4カテゴリー(○：すでに実施、△：実施を検討、×：実施していない、－：未回答)に区分している。森記念財団で4カテゴリーを点数化し(「すでに実施」を1点、「実施を検討」を0.5点、「実施していない」や「未回答」を0点。)、その点数を合算した値。掲載のない都市は各自治体に確認した。
		55	要支援・要介護高齢者割合の少なさ	厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」における65歳以上の「要介護(要支援)認定者数」を、同報告に記載されている第1号被保険者数(65歳以上人口)で除した値。佐賀市・熊谷市は自治体発表のデータを用い、豊橋市、豊川市、鈴鹿市は推計を行った。
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	日常生活自立支援事業の実利用者数を夜間人口(万人あたり)で除した値。
		57	電子自治体推進度	総務省「自治体DX・情報化推進概要(地方公共団体における行政情報化の推進状況調査結果)」の「行政サービスの向上・高度化」のうち、住民のオンライン利用の促進や住民サービス向上に向けた取り組みに関する項目を集計し過去3か年の平均を算出した値。
	居住環境	58 Q	居住環境の満足度	居住者アンケート「自宅周辺の居住環境(防災性、防犯性、利便性など総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		59	新規住宅供給面積の多さ	国土交通省「住宅着工統計報告」における「第15表 着工住宅：都道府県別、工事別、利用関係別(戸数・件数、床面積の合計)」に掲載されている「新設」の「床面積の合計(m ²)」の過去3か年平均を、夜間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		60	住宅の広さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における1住宅あたり延べ面積。
		61	住宅のバリアフリー化率	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」の「バリアフリー化住宅に居住する65歳以上の世帯員のいる主世帯総数」を、「65歳以上の世帯員のいる主世帯総数」で除した値。
	生活利便施設	62	小売事業所密度	総務省統計局「経済センサス基礎調査結果」における「各種商品小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」、「機械器具小売業」および「その他の小売業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		63	飲食店舗密度	総務省統計局「経済センサス基礎調査結果」における「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		64	コンビニ密度	代表的なインターネット電話帳に掲載されているコンビニ数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
	生活の余裕度	65	可処分所得	総務省統計局「全国家計構造調査」に掲載されている、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月間の「可処分所得額」(実収入から非消費支出を引いた額)。東京23区については総務省統計局「社会・人口統計体系 市区町村データ 基礎データ」の「課税対象所得」および「世帯数」を用いて推計を行った。
		66	物価水準の低さ	総務省統計局「小売物価統計調査(構造編)」における「10大費目別消費者物価地域差指数(全国平均=100)」の、「総合」より算出した値。なお、県庁所在市および政令指定都市以外の都市はデータが掲載されていないため、都道府県の値を代用した。
		67	住宅コストの低さ	総務省統計局「全国家計構造調査」の都道府県別家計収支に関する結果に掲載されている「住居費」と「持ち家(現住居)の帰属家賃」の合計値。東京23区については、以下の2つのデータをもとに推計した：(1)同調査の横浜市の値および東京都特別区部の平均値、(2)代表的な賃貸不動産サイトにおける、各区および横浜市の住宅賃料相場(2LDK程度)。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
環境	環境パフォーマンス	68	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」の「市町村集計結果(ごみ処理状況)」に掲載されているリサイクル率(リサイクル率R)。東京23区については「東京都23区分」の値。
		69	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」で公表されている各市区町村のCO ₂ 排出量合計値を、総務省統計局「国勢調査結果」に基づく各市町村の昼間人口で除した人口1人あたりのCO ₂ 排出量。
		70	再生可能エネルギー自給率	千葉大学倉阪研究室+認定NPO法人環境エネルギー政策研究所提供の「持続地帯報告書」の地域的エネルギー自給率(電力+熱)の値。地域的エネルギー自給率とは、地域的エネルギー需要(民生用+農林水産業用エネルギー需要)に占める再生可能エネルギー供給量の比率。再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、太陽熱、地熱、バイオマス熱を含む。
	自然環境	71 Q	自然環境の満足度	居住者アンケート「自然環境(山や森、海や川、緑豊かな公園や街路樹など)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		72	都市地域緑地率	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「都市地域土地利用細分メッシュ」を用いて、田、その他の農用地、森林、荒地、公園・緑地、ゴルフ場の面積を抽出し、都市地域総面積で除した値。都市地域とは、国土を都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域の5地域に分類したときの都市地域を指し、都市計画法第5条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域を指す。
		73	水辺の充実度	株式会社東京地図研究社のオリジナル地図データ「MapPackage」を用いて、行政区域総面積における水辺面積を推計し、これを行政区域総面積で除した値。水辺面積の推計は以下のルールにもとづいて行った。(1)面データがある水域(主に海)においては、陸域から100m圏内の水面の面積を算出した。(2)線データしかない水域(主に川)においては、陸域から100m圏内の水域の線データの長さを出し、水域の幅を10mと設定し、算出した長さに乗じた(利用した「MapPackage」での水域の取得基準により、水域の数値が0となっている場合がある)。
	快適性	74	年間日照時間	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載されている、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の合計日照時間。
		75	気温・湿度が快適な日数	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載されている、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の不快指数が60以上75以下の日数をカウント。不快指数は、日平均気温および日平均湿度を用いて、以下の計算方法で算出した。不快指数(DI)=0.81T+0.01H×(0.99T-14.3)+46.3(Tは気温℃、Hは湿度%)
		76	空気のきれいさ	国立環境研究所「大気環境月間値・年間値データ」における「窒素酸化物(NO _x)」の濃度と「微小粒子状物質(PM2.5)」の濃度において、全測定局の年間平均値をそれぞれ指数化し、合算した値。
		77 Q	街路の清潔さ	居住者アンケート「他の都市と比べて、現在お住まいの都市の屋外空間、街路等は清潔に(街路上にゴミが落ちていない等)保たれていますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
交通・アクセス	都市内交通	78 Q	公共交通の利便性	居住者アンケート「公共交通(鉄道やバスなどの運行本数、施設・設備、サービスなど総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		79	鉄道駅・バス停密度	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「鉄道駅データ」と「バス停留所データ」に掲載されている鉄道駅数とバス停留所数を、都市計画区域面積からそれぞれ密度を算出し、指数化した値を合算した。
		80	交通渋滞の少なさ	国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」に掲載されている旅行速度整理表(都道府県別道路種別別)より、自動車専用道路以外の昼間12時間平均旅行速度(時間帯別交通量加重)の上り・下りを平均した値。
	都市外アクセス	81	空港アクセス時間の短さ	対象都市における市区役所から2時間以内で到達可能な空港(対象空港)までの平均所要時間。平均所要時間は次の2つの数値にもとづいて算出した:(1)Googleマップで算出される各市区役所から最寄りの空港までの最短アクセス時間(平日朝10時到着、自動車による移動)、および(2)国土交通省東京航空局および大阪航空局の「管内空港の利用概況集計表」より集計した空港別の年間旅客者数(国内線・国際線合計)。
		82	新幹線の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)国土交通省国土政策局「国土数値情報」から取得した新幹線の停車駅の乗降客数(新幹線・在来線の合算値)。新幹線の停車駅がない都市は、対象都市内で乗降客数が最大の駅から最も近い新幹線の停車駅の乗降客数。乗降客数が記載されていない駅は、個別にデータを収集した。(2)新幹線の停車駅までの移動時間。新幹線の停車駅がある都市は、移動時間を0とした。新幹線の停車駅がない都市は、都市内の最も乗降客数が多い駅から最も近い新幹線の停車駅までの移動時間とする(平日朝10時到着、鉄道による移動)。なお、新幹線の停車駅に朝10時までに到達が不可能な場合はスコアを0とした。
		83	インターチェンジ数	国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「高速道路時系列データ」における「一般インターチェンジ」および「スマートインターチェンジ」の数。
	移動の容易性	84	都市のコンパクトさ	総務省統計局「国勢調査結果」における人口等基本集計(男女・年齢・配偶関係、世帯の構成、住居の状態など)に掲載されている、人口集中地区の人口を同調査の夜間人口で除した割合。なお、人口集中地区とは「(1)原則として人口密度が1平方キロメートルあたり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、(2)それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」。
		85	通勤時間の短さ	総務省「住宅・土地統計調査」における家計を主に支える者の通勤時間の中央値。
		86 Q	自転車の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)RYDE株式会社「RYDE CYCLE」、およびナビタイムジャパン「全国のシェアサイクル」の登録数が多い方のシェアサイクルポート数、(2)居住者アンケート「新型コロナウイルス感染症流行後の、主たる通勤や通学に用いている移動手段を選択してください。」の問いに対する選択肢(徒歩、自転車、バイク、車、バス・路面電車、電車・地下鉄)のうち自転車の占める割合。

Q: 居住者アンケート結果を用いている指標



日本の都市特性評価

Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness

2023年7月

編集・発行

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

装丁・印刷：光村印刷株式会社

調査に関するお問い合わせ

iusall@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

TEL : 03-6406-6800

www.mori-m-foundation.or.jp

© 2023 The Mori Memorial Foundation

このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

J a p a n

P o w e r

C i t i e s

Profiling Urban Attractiveness